

草津市スポーツ推進計画概要

資料 2

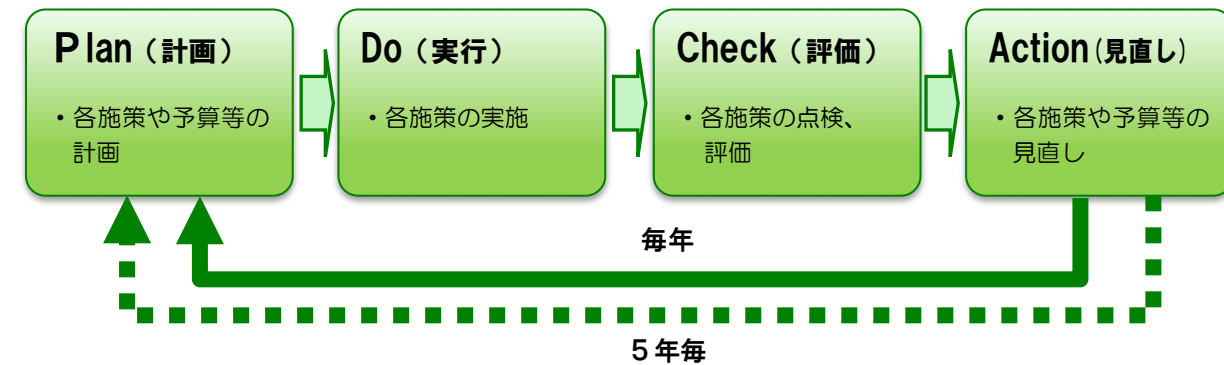
第5章 計画の実現に向けて

○計画の推進

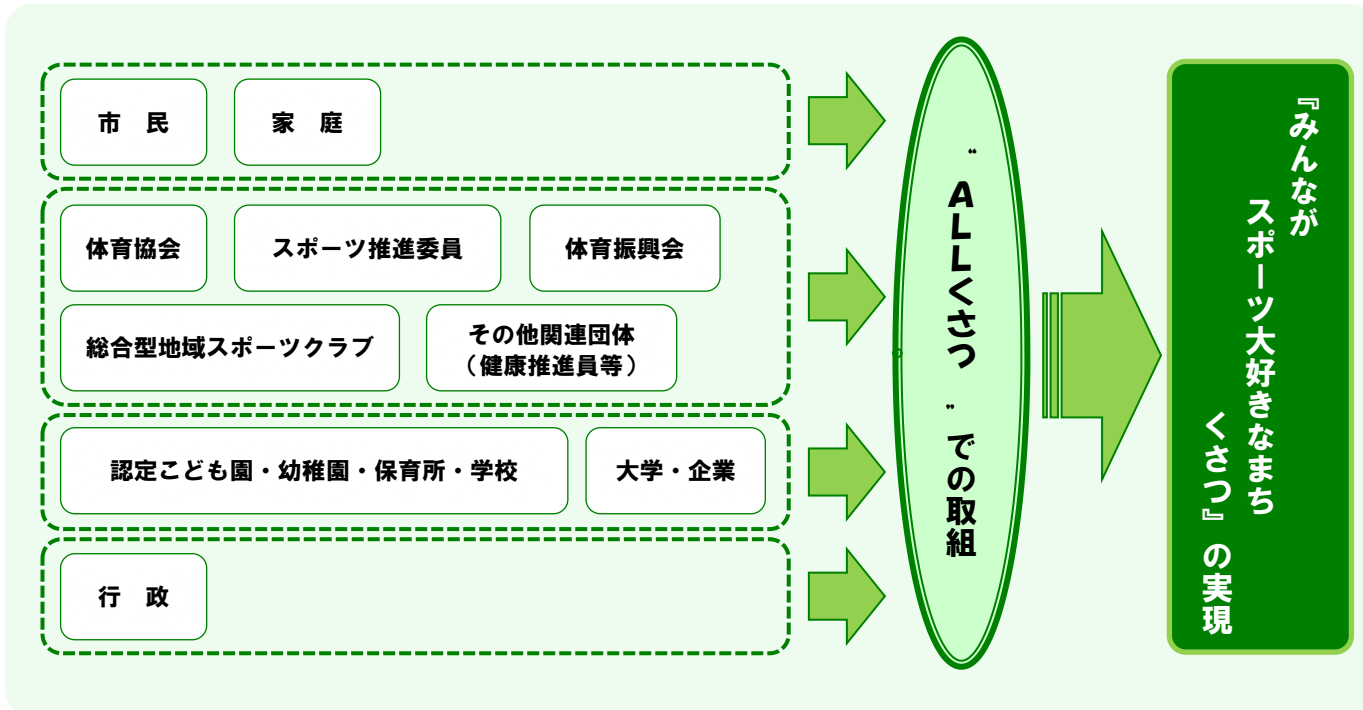
市内のスポーツ関係団体等で構成する「スポーツ推進協議会」を設置し、“ALLくさつ”の体制を構築することで、各基本方針に基づく施策の具体的な事業を効率的・効果的に取り組み、課題の解決や施策を協働で推進します。

○計画の点検・評価、進行管理

草津市スポーツ推進審議会において、計画の施策の点検・評価を審議します。
基本方針ごとに設定した目標の達成に向けて、庁内関係部署において、施策の評価を行います。



■“ALLくさつ”での取り組みイメージ



草津市スポーツ推進計画

平成28年3月

草津市教育委員会事務局 スポーツ保健課
滋賀県草津市草津三丁目13番30号
TEL: 077-561-2432 FAX: 077-561-2488

第1章 計画策定にあたって

■計画策定の趣旨

本市では、平成23年4月に「草津市スポーツ振興計画」を策定し、これまで様々なスポーツ振興にかかわる取組を行ってきました。

この間、国においては、平成23年8月にスポーツ基本法が施行され、平成24年3月にはスポーツ基本計画が策定されました。これを受け、滋賀県においては、平成25年3月に滋賀県スポーツ推進計画が策定されました。

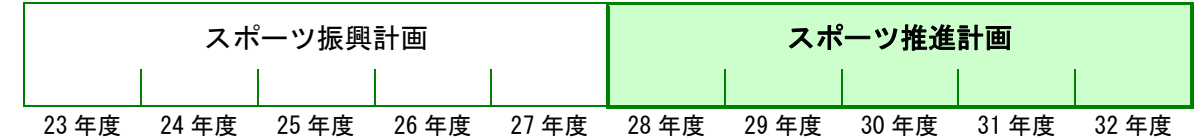
また、平成32年に開催される東京オリンピック・パラリンピックや、平成33年に開催される関西ワールドマスタースゲームズ、そして平成36年の滋賀県での国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の開催を控え、市民のスポーツに対する関心や機運がますます高まっています。

こうした草津市スポーツ振興計画策定後のスポーツを取り巻く環境の変化による新たな課題に対応するため、「草津市スポーツ推進計画」を策定します。

■計画の位置づけ

スポーツ基本法第10条に基づく計画であり、さらに、滋賀県スポーツ推進計画を踏まえた計画です。なお、計画に掲げる施策は、本市の関連計画とも整合性を保ちながら推進していきます。

■計画の期間



第2章 これまでの成果と課題

施策1:スポーツ実施率の向上と健康増進

「体づくり歩こう会」や「いきいき百歳体操」等のスポーツや健康づくりに関する諸事業の展開、「離乳食レストラン」等の年代に応じた食育を推進することができました。

しかしながら、比較的若い世代のスポーツ実施率が低下傾向にあり、運動不足を感じている人の割合が多くなっており、スポーツ実施率の向上やスポーツ、健康づくり、食育に対する関心の高まりにつながる事業の展開が必要です。

施策2:子どもの体力向上とスポーツ活動の継続

「各種スポーツ教室」や「ジュニアスポーツフェスティバル」の開催等により、子どもがスポーツを好きになり、スポーツを始める、きっかけづくりとなりました。

スポーツが好きなお子が多くなり、子どものニーズが多様化してきている今後は、スポーツ活動継続のためのスポーツ障害の予防と併せて、様々なスポーツができる機会を充実させていくことが必要です。

また、子どもが外遊びできる環境の整備等を検討していくことも必要です。

施策3:効率的・効果的なスポーツ事業の展開

総合型地域スポーツクラブの支援を行ったことにより、活発な活動の促進等につながりました。

また、立命館大学と連携し、小学校の体育授業への学生の参画により、小学生と学生の交流を進めてきましたが、より効果的な取組とするためには、さらなる連携が必要です。

各関係団体の連携・協力を強化し、課題の解決等を協働で推進できる組織体制の構築が必要です。

施策4:スポーツ情報提供の推進

スポーツに関する情報を、市広報やホームページ等を利用して周知・啓発を行い、イベント参加者の確保やスポーツに対する機運や関心の高まりにつながりました。

しかしながら、多くの市民が情報を十分に入手できていない状況にあることから、市民ニーズに合った新たな情報発信の方法を検討することが必要です。

施策5:スポーツ振興支援のための人材育成

スポーツイベントの開催にあたり、立命館大学の学生等の協力を得て、円滑なイベント運営とボランティア機会の提供を行うことができました。

しかしながら、スポーツの指導者やボランティア等、新たな人材の育成が進んでいないことから、スポーツを支える人材の育成、ボランティアの機会を充実させていくことが必要です。

施策6:スポーツによる地域コミュニティの強化

体育振興会を中心としたスポーツイベント等の開催により、住民相互の交流や地域の活性化につながりました。

しかしながら、地域におけるスポーツイベント等の参加者の減少や担い手不足が生じてきており、住民が地域のスポーツイベント等に主体的に参画し、スポーツ健康づくりが推進できる環境を整備することが必要です。

施策7:スポーツ資源の拡充と新たな運営システムの構築

社会体育施設で必要な修繕や改修を行い、より快適にスポーツができる環境を提供することができました。

しかしながら、社会体育施設の不足や老朽化を感じている市民が多いことから、施設の計画的な改修・整備を行うなど、誰もが快適にスポーツができる環境を整備していくことが必要です。

さらに、身近な場所でスポーツができるよう、社会体育施設や学校体育施設のほか、民間企業等と連携・協力した施設の有効活用の検討が必要です。

第3章 基本理念と基本方針

■基本理念

“ALLくさつ”でつくる『みんながスポーツ大好きなまち くさつ』

スポーツは、健康や体力の維持・向上を図るだけのものではありません。スポーツを通じて人と人、人と地域を様々な形で結びつけるものであり、本市の活性化にも必要不可欠なものです。

スポーツに出会い、スポーツを実践し、スポーツにかかわるといふ、市民一人ひとりが健康的で、人との交流やつながりのある豊かなスポーツライフを楽しむことのできるスポーツ文化の醸成されたまち、『みんながスポーツ大好きなまち くさつ』を“ALLくさつ”（市の総力をあげてスポーツ推進に取り組む）でつくりまします。

■基本理念

基本理念の実現に向けて取り組む具体的な方向性を5つの「基本方針」として定め、方針に沿った施策と目標を設定し、各主体に期待する役割や行政が果たすべき役割を明確にしたうえで、それぞれの連携・協力を強化し、取組を行ってまいります。

1 子どもの体力向上と スポーツ活動の推進	2 生涯スポーツ活動 の推進	3 地域コミュニティに よるスポーツの推進	4 競技スポーツの 推進	5 スポーツ環境の 充実
-----------------------------	----------------------	-----------------------------	--------------------	--------------------

第4章 施策の展開

1 子どもの体力向上と スポーツ活動の推進

【目標】新体カテストの成績

現状値（平成26年度）
小学5年生 男子 53.06点
女子 53.59点
（参考：全国平均点男子 53.91点 女子 55.01点）

目標値（平成32年度）
全国平均点を上回る

2 生涯スポーツ活動の推進

【目標】成人（20歳以上）の週1回
30分以上のスポーツ実施率

現状値（平成26年度）
54.8%

目標値（平成32年度）
65%以上

3 地域コミュニティによる スポーツの推進

【目標】地域スポーツクラブ設立数

現状値（平成26年度）
4クラブ

目標値（平成32年度）
8クラブ

4 競技スポーツの推進

【目標】滋賀県民体育大会における
草津市の総合得点

現状値（平成26年度）
75.00点

目標値（平成32年度）
95.00点

5 スポーツ環境の充実

【目標】社会体育施設ホームページ
アクセス数

現状値（平成26年度）
36,406アクセス

目標値（平成32年度）
100,000アクセス

(1)乳幼児・児童の運動(遊び)の推進

- ①遊びを通じた運動・スポーツの充実
- ②親子で楽しむ運動・スポーツ機会の充実
- ③地域ぐるみで取り組む子どもの運動・スポーツ機会の充実
- ④トップアスリートと連携したスポーツ機会の充実

(2)学校体育の充実

- ①授業内容の充実と体育指導の向上
- ②大学と連携した学校体育の充実

(3)運動クラブ・部活動の充実

- ①小・中学校体育連盟の連携強化
- ②スポーツ関係団体や大学等と連携した運動クラブ・部活動の支援

(4)スポーツ少年団活動の活性化 ※4-(2)並記

- ①スポーツ少年団の支援

(5)スポーツ障害の予防

- ①スポーツ障害に関する学習の推進
- ②スポーツ障害を防ぐ指導者の育成

(1)身近なスポーツイベントの充実

- ①気軽に参加できるスポーツや健康づくり事業の推進
- ②スポーツ活動機会の充実
- ③障害者が参加するスポーツイベントの支援・充実

(2)スポーツを通じた健康づくりの推進

- ①ウォーキングの推進
- ②ランニングの普及
- ③ライフステージに応じた事業の推進
- ④くさつ健康はつらつ体操等の普及・促進

(3)高齢者の健康づくりの推進

- ①高齢者が気軽に参加できる事業の推進
- ②いきいき百歳体操等の普及・促進

(4)食育による健康づくりの推進

- ①子どもの食育の推進
- ②高齢者の食育の推進

(1)スポーツ推進委員活動の推進

- ①地域のスポーツ活動の推進
- ②地域各種団体等との連携によるスポーツ活動の推進

(2)体育振興会活動の活性化

- ①学区単位のスポーツ活動の活性化

(3)総合型地域スポーツクラブ活動の活性化

- ①地域スポーツクラブ設立の支援
- ②総合型地域スポーツクラブの支援

(4)各種関係団体との連携強化

- ①各種関係団体との連携強化

(5)大学や企業等との連携強化

- ①大学等と連携したスポーツ活動の推進
- ②企業等と連携したスポーツ活動の推進

(1)体育協会活動の活性化

- ①体育協会の支援
- ②国民体育大会に向けた競技力の向上

(2)スポーツ少年団活動の活性化 ※1-(4)並記

- ①スポーツ少年団の支援

(3)各種大会出場者への支援

- ①激励金の交付
- ②スポーツ顕彰の実施

(4)障害者スポーツの推進

- ①障害者アスリートへの支援
- ②草津市立障害者福祉センター・県立障害者福祉センター等との連携による障害者スポーツの推進

(5)将来を担うアスリートの育成

- ①ジュニアアスリートの育成
- ②専門性を生かしたアスリートの育成

(6)競技大会の推進

- ①草津市民体育大会の開催
- ②各種競技大会の開催

(1)指導者の育成・ボランティア機会の充実

- ①指導者の育成
- ②体育協会との連携
- ③スポーツボランティアの育成
- ④スポーツボランティア機会の充実

(2)新たなスポーツ情報発信システムの構築

- ①ホームページを活用した情報発信の充実
- ②各種情報メディアを活用した情報発信の充実

(3)社会体育施設等の整備・充実

- ①（仮称）野村スポーツゾーンの整備
- ②国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向けた施設の整備・充実
- ③施設のバリアフリー化の推進
- ④市民センター等の地域の身近な施設の活用
- ⑤公園の整備・充実

(4)学校体育施設開放の充実

- ①学校体育施設開放の充実

(5)企業等管理施設の有効活用

- ①企業等管理施設の有効活用

(6)スポーツ観戦機会の充実

- ①（仮称）野村スポーツゾーン等を生かしたスポーツイベントの推進
- ②近隣自治体等との連携

令和元年度 草津市スポーツ推進計画の点検・評価

基本方針1	子どもの体力向上とスポーツ活動の推進		
目標	新体カテストの成績	目標値(R2)	全国平均点を上回る

単位: 点

現状値(H26)	H28	H29	H30	R1	R2
小学5年生	小学5年生	小学5年生	小学5年生	小学5年生	小学5年生
男子 53.06	男子 54.01	男子 53.96	男子 55.59	男子 54.68	男子 -
全国 53.91	全国 53.92	全国 54.16	全国 54.21	全国 53.61	全国 -
女子 53.59	女子 53.99	女子 54.70	女子 55.30	女子 55.50	女子 -
全国 55.01	全国 55.54	全国 55.72	全国 55.90	全国 55.59	全国 -

【成果・課題】

立命館大学スポーツ健康科学部と協働で取り組む「小・中学校体力向上プロジェクト」において、体育授業のはじめの数分間で取り組める「短時間運動プログラム」を効率よく実施するとともに、コーディネーション能力を向上させるための運動を開発・検証してきた結果、今年度の小学5年生女子の成績は、昨年度よりも上昇し、県の平均点を上回り、全国の平均点に迫っている。また、小学5年生男子は、昨年度に比べ平均点は低下したものの、県や全国の平均点よりも高い数値を示している。運動が好き、嫌いとは関係があるといわれており、さらなる新体カテストの成績向上に向けて、運動好きの子どもを増やすことが課題である。

【今後の取組】

「小・中学校体力向上プロジェクト」において、楽しみながら、意欲的に取り組めるよう体育授業の改善を行うとともに、現在実施しているジュニアスポーツフェスティバルやダンス教室等の事業内容を更に充実させ、運動好きの子どもの育成を図る。

基本方針2	生涯スポーツ活動の推進		
目標	成人(20歳以上)の週1回30分以上のスポーツ実施率	目標値(R2)	65%以上

単位: %

現状値(H26)	H28	H29	H30	R1	R2
54.8	50.8	49.6	51.5	56.0	-

【成果・課題】

草津市民スポーツレクリエーション祭やチャレンジスポーツデー、草津市民駅伝大会などのスポーツイベントを開催し、市民の運動機会の創出に取り組みスポーツ実施率が上昇した。また、スポーツ実施率について、年齢別では40歳代から70歳代までの年代が高くなっている一方、20代、30代は依然と低い状況である。このため、若い世代に対し効果的なアプローチや意識づけを行い、スポーツ実施率向上に向けた具体的な取組について検討が必要である。

【今後の取組】

全体的に30代から40代のスポーツ実施率を上げることが重要であるため、若い世代がイベントに参加できる工夫を行い、継続してスポーツに取り組んでもらえるようなきっかけづくりを行う必要がある。

基本方針3	地域コミュニティによるスポーツの推進		
目標	地域スポーツクラブ設立数	目標値(R2)	8クラブ

単位:クラブ

現状値(H26)	H28	H29	H30	R1	R2
4	4	5 ※設置された学区は5学区	5 ※設置された学区は6学区	5 ※設置された学区は6学区	-

【成果・課題】

より身近に様々なスポーツができる機会や環境の充実に向けて、地域スポーツクラブの目的や意義等について周知・啓発を図ってきた結果、現在、5つのスポーツクラブが6学区で活動している。
課題としては、さらなるクラブの設立に向けた取組と、既存クラブの運営に固定化・高齢化がみられるので、持続可能な組織に向けた検討が必要である。

【今後の取組】

地域コミュニティを中心とした本市の生涯スポーツの推進に向けて、クラブを設立していない地域に対し、地域スポーツクラブの説明会を体育振興会連絡協議会で開くなどの働きかけを行うとともに、既存のクラブについても、地域スポーツクラブ間の交流を通じて、各クラブの特長を参考とした、よりよいクラブ運営を検討していく場を設ける。

基本方針4	競技スポーツの推進		
目標	滋賀県民体育大会における草津市の総合得点	目標値(R2)	95.00点

単位:点

現状値(H26)	H28	H29	H30	R1	R2
75.00 ※2位	58.00 ※6位	62.00 ※5位	55.00 ※4位	57.83 ※5位	-

【成果・課題】

公益社団法人草津市スポーツ協会の運営や活動を支援し、人員体制の強化に取り組んだ。また、スポーツ協会、各競技団体、指定管理者と連携しプロスポーツ選手と連携したスポーツ教室や子ども向け体験教室を実施するなど、関係者と連携した取組みを進めた。
草津市の競技力の指標とした滋賀県民体育大会における草津市の総合得点は、参加種目が減少したため順位が下降したが、上位に入賞する競技は増加しており、引き続き競技力の向上を図っていく。

【今後の取組】

市内の競技団体の活発な活動の促進に向けて、引き続き、公益社団法人草津市スポーツ協会の運営や活動を支援し、さらなる運営体制の強化に努める。
また、競技力の向上に向けて、指導者の確保・育成ならびに選手の発掘・育成を一層推し進めていくために草津市スポーツ協会を中心として市内の競技団体や滋賀県スポーツ協会などの関係団体と一層の情報共有や連携に取り組むことが重要となる。

基本方針5	スポーツ環境の充実		
目標	社会体育施設 ホームページアクセス数	目標値(R2)	100,000アクセス

単位:アクセス

現状値(H26)	H28	H29	H30	R1	R2
36,406	150,293	213,022	189,825	188,075	-

【成果・課題】

YMITアリーナを整備するとともに、競技用プール整備や社会体育施設整備を計画した。
また、ウェブページによりスポーツ情報や施設予約状況が閲覧できるよう、情報発信を充実するなど、利便性向上に努めた。

【今後の取組】

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向け、着実にハード整備を進めていく必要がある。
また、施設利用にあたってはインターネット予約の検討、施設・備品の更新など、快適な施設利用に向け改善を検討していく必要がある。

草津市スポーツ推進計画 実施事業一覧

基本方針	目標	施策	具体的な取組	事業名	担当課	実施主体	関係団体等	令和元年度 評価		
1 子どもの体向上とスポーツ活動の推進	新体カテストの成績	(1) 乳幼児・児童の運動(遊び)の推進	① 遊びを通じた運動・スポーツの充実	子どもの運動・遊び推進事業	幼児課 子育て相談センター	草津市	認定こども園、幼稚園、保育所、子育て相談センター	3		
			② 親子で楽しむ運動・スポーツ機会の充実	親子で参加できる各種スポーツ教室	スポーツ保健課	草津市スポーツ振興事業体	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会	3		
			③ 地域ぐるみで取り組む子どもの運動・スポーツ機会の充実	地域協働学校	生涯学習課	各推進組織	地域住民、市民サークル、老人会、企業・大学関係者 など	3		
			④ トップアスリートと連携したスポーツ機会の充実	くさつMIO夢先生事業	スポーツ保健課	草津市	MIOびわこ滋賀、小学校	3		
		(2) 学校体育の充実	① 授業内容の充実と体育指導の向上	小・中学校体力向上プロジェクト事業	スポーツ保健課	草津市	小学校体育連盟、中学校保健体育連盟、立命館大学	4		
			② 大学と連携した学校体育の充実	ジュニアスポーツフェスティバル KUSATSU	スポーツ保健課	草津市	小学校体育連盟、立命館大学	4		
		(3) 運動クラブ・部活動の充実	① 小・中学校体育連盟の連携強化	小・中学校体育連盟活動推進事業	スポーツ保健課	草津市	小学校体育連盟、中学校保健体育連盟	3		
			② スポーツ関係団体や大学等と連携した運動クラブ・部活動の支援	運動クラブ・部活動支援事業	スポーツ保健課	草津市	スポーツ協会、立命館大学	3		
		(4) スポーツ少年団活動の活性化	① スポーツ少年団の支援 ※基本方針4-(2)註記	スポーツ少年団事業補助金	スポーツ保健課	草津市	スポーツ少年団(スポーツ協会)	3		
			(5) スポーツ傷害の予防	① スポーツ傷害に関する学習の推進	スポーツ傷害予防講習会	スポーツ保健課	草津市	中学校体育連盟	3	
		② スポーツ傷害を防ぐ指導者の育成		スポーツ指導者講習会	スポーツ保健課	草津市スポーツ振興事業体	スポーツ協会	2		
		2 生涯スポーツ活動の推進	成人の週1回30分以上のスポーツ実施率	(1) 身近なスポーツイベントの充実	① 気軽に参加できるスポーツや健康づくり事業の推進	草津市民スポーツ・レクリエーション祭	スポーツ保健課	体育振興会連絡協議会	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会	3
						ワールドマスターズゲームズ2021関西(ソフトボール競技)	スポーツ大会推進室	草津市、守山市、東近江市 滋賀県ソフトボール協会	各市ソフトボール協会、滋賀県 他	3
						草津川跡地公園での健康イベント	健康福祉政策課	草津市	草津まちづくり株式会社	3
(2) スポーツを通じた健康づくりの推進	① ウォーキングの推進			ウォーキング推進事業	スポーツ保健課	スポーツ推進委員協議会 くさつ健・交クラブ	立命館大学、ボランティアガイド協会 他	4		
				草津版ヘルスツーリズム実証実験	企画調整課 商工観光労政課	草津市	観光物産協会、立命館大学	3		
				② ランニングの普及	ランニングイベントの開催	都市再生課 スポーツ保健課	民間事業者・健康都市くさつランフェスティバル実行委員会	草津まちづくり株式会社	3	
				③ ライフステージに応じた事業の推進	くさつ健康ポイント制度	健康増進課	草津市		3	
(3) 高齢者の健康づくりの推進	① 高齢者が気軽に参加できる事業の推進			老人クラブ活動支援	長寿いきがい課	草津市	老人クラブ連合会	3		
				いきいき百歳体操等の普及・促進	いきいき百歳体操	長寿いきがい課	草津市		3	
				(4) 食育による健康づくりの推進	① 子どもの食育の推進	離乳食レストラン	子育て相談センター	健康推進員連絡協議会		3
② 高齢者の食育の推進	草津歯口からこんには体操				長寿いきがい課	草津市		3		

草津市スポーツ推進計画 実施事業一覧

基本方針	目標	施策	具体的な取組	事業名	担当課	実施主体	関係団体等	令和元年度 評価
3 地域コミュニティによる スポーツの推進	地域スポーツクラブ設 立数	(1) スポーツ推進委員活動 の推進	① 地域のスポーツ活動の活性化	スポーツ推進委員指導力向上事業	スポーツ保健課	スポーツ推進委員協議会		4
			② 地域各種団体等との連携によるスポーツ 活動の推進	スポーツ推進委員活動推進事業	スポーツ保健課	スポーツ推進委員協議会	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、各体育振興会、各地域スポーツクラブ	4
		(2) 体育振興会活動の活性 化	① 学区単位のスポーツ活動の活性化	地域スポーツイベントの開催	スポーツ保健課	各体育振興会	各スポーツ推進委員	3
			(3) 総合型地域スポーツク ラブ活動の活性化	① 地域スポーツクラブ設立の支援	地域スポーツクラブ設立支援事業	スポーツ保健課	草津市	各体育振興会、各スポーツ推進委員
		② 総合型地域スポーツクラブの支援		総合型地域スポーツクラブ事業補助金	スポーツ保健課	草津市	くさつ健・交クラブ	3
		(4) 各種関係団体との連携 強化	① 各種関係団体との連携強化	各種関係団体と連携したスポーツ活動	スポーツ保健課	各体育振興会	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員、地域スポーツクラブ	3
			(5) 大学や企業等との連携 強化	① 大学等と連携したスポーツ活動の推進	大学等と連携したスポーツ活動	スポーツ保健課	各体育振興会	立命館大学、市内高等学校
		② 企業等と連携したスポーツ活動の推進		くさつMIO夢先生事業	スポーツ保健課	草津市	MIOびわこ滋賀	4
4 競技スポーツの推進	滋賀県民体育大会にお ける草津市の総合得点	(1) スポーツ協会活動の活 性化	① スポーツ協会の支援	スポーツ協会運営・事業補助金	スポーツ保健課	草津市	スポーツ協会	3
			② 国民体育大会に向けた競技力の向上	国民体育大会に向けた選手の発掘・育 成	スポーツ保健課	スポーツ協会		3
		(2) スポーツ少年団活動の 活性化	① スポーツ少年団の支援 ※基本方針1-(4)並記	スポーツ少年団事業補助金	スポーツ保健課	草津市	スポーツ少年団(スポーツ協会)	3
			(3) 各種大会出場者への支 援	① 激励金の交付	スポーツ選手各種大会出場激励金	スポーツ保健課	草津市	
		② スポーツ顕彰の実施		草津市民スポーツ大賞	スポーツ保健課	草津市		3
		(4) 障害者スポーツの推進	① 障害者アスリートへの支援	障害者アスリート各種大会出場激励金	障害福祉課	草津市		3
			② 草津市立障害者福祉センター・県立障害者福祉 センター等との連携による障害者スポーツの推 進	滋賀県障害者スポーツ大会	障害福祉課	各関係団体		2
		(5) 将来を担うアスリートの 育成	① ジュニアアスリートの育成	各種ジュニアスポーツ教室	スポーツ保健課	草津市スポーツ振興事業体	スポーツ協会	3
			② 専門性を生かしたアスリートの育成	大学・企業等と連携したアスリート育成	スポーツ保健課	草津市スポーツ振興事業体	スポーツ協会、立命館大学	4
		(6) 競技大会の推進	① 草津市民体育大会の開催	草津市民体育大会	スポーツ保健課	草津市	スポーツ協会	3
			② 各種競技大会の開催	各種競技大会	スポーツ保健課	草津市	スポーツ協会	3
		第79回国民スポーツ大会 第24回全国障害者スポーツ大会		スポーツ大会推進室	滋賀県、各中央競技団体	草津市、滋賀県スポーツ協会 他	3	

草津市スポーツ推進計画 実施事業一覧

基本方針	目標	施策	具体的な取組	事業名	担当課	実施主体	関係団体等	令和元年度 評価
5 スポーツ環境の充実	社会体育施設ホームページアクセス数	(1) 指導者の育成・ボランティア機会の充実	① 指導者の育成	スポーツ指導員等資格取得支援事業	スポーツ保健課	スポーツ協会		3
			② スポーツ協会との連携	指導者人材バンク	スポーツ保健課	スポーツ協会		3
			③ スポーツボランティアの育成	スポーツボランティア登録制度	スポーツ保健課	草津市スポーツ振興事業体	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ	3
			④ スポーツボランティア機会の充実	スポーツボランティアの積極的活用	スポーツ保健課	草津市	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ	3
		(2) 新たなスポーツ情報発信システムの構築	① ホームページを活用した情報発信の充実	草津市スポーツ情報ネットの充実	スポーツ保健課	草津市スポーツ振興事業体	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会	4
			② 各種情報メディアを活用した情報発信の充実	草津市スポーツ情報紙の発行	スポーツ保健課	草津市スポーツ振興事業体	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会	4
		(3) 社会体育施設等の整備・充実	① (仮称)野村スポーツゾーンの整備	野村公園整備事業	公園緑地課	草津市	スポーツ協会、観光物産協会、中心市街地活性化協議会、立命館大学	3
			② 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた施設の整備・充実	社会体育施設等整備改修事業(国スポ整備)	スポーツ大会推進室 プール整備事業推進室	草津市	スポーツ協会	3
			③ 施設のバリアフリー化の推進	社会体育施設整備改修事業(営繕)	スポーツ保健課	草津市	スポーツ協会	3
			④ 地域まちづくりセンター等の地域の身近な施設の活用	地域まちづくりセンター貸館事業	まちづくり協働課	草津市、各学区まちづくり協議会		3
			⑤ 公園の整備・充実	児童公園等再整備事業	公園緑地課	草津市	各町内会	3
		(4) 学校体育施設開放の充実	① 学校体育施設開放の充実	学校体育施設開放事業	スポーツ保健課	草津市	くさつ健・交クラブ、各地域スポーツクラブ	3
		(5) 企業等管理施設の有効活用	① 企業等管理施設の有効活用	企業等管理施設の一般開放の検討	スポーツ保健課	草津市	企業等	2
		(6) スポーツ観戦機会の充実	① (仮称)野村スポーツゾーン等を生かしたスポーツイベントの推進	野村公園整備事業	公園緑地課	草津市	スポーツ協会、観光物産協会、中心市街地活性化協議会、立命館大学	3
			② 近隣自治体等との連携	自転車競技大会の開催協力	商工観光労政課	草津市	滋賀県・京都府自転車競技連盟	3

基本方針1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価					
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価
① 遊びを通じた運動・スポーツの充実	子どもの運動・遊び推進事業	幼児課・子育て相談センター	実施主体	草津市					
			関係団体等	認定こども園、幼稚園、保育所、子育て相談センター					
			事業内容	認定こども園・幼稚園・保育所において、各園所の特色を生かした運動(遊び)の充実を図り、また子育て支援センターにおいて、遊び場の提供や親子で身体を動かすことができるイベントを開催する。					
			成果	【子育て相談センター】多胎児家庭や子育て家庭に交流の場を提供するとともに、親子で体を動かすことのできる場を提供する事ができた。その結果、子育てについての支援を行うことができた。					
			課題	【子育て相談センター】特になし					
			評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった				
				実施計画	目標 様々な運動(遊び)を通じて、子どもの体力・運動能力の向上と、親同士や子ども同士の交流を深めるきかかけづくりにつなげる。 年度 H28 H29 H30 R1 R2 区分 継続 継続 継続 継続 継続 計画 ◆各園所 元気ひろば・マラソン大会、相撲遊び等の実施 ◆子育て支援センター 各種イベントの開催 ◆各園所 元気ひろば・マラソン大会、相撲遊び等の実施 ◆子育て支援センター 各種イベントの開催 ◆各園所 元気ひろば、相撲遊び等の実施 ◆子育て相談センター 各種イベントの開催 ◆各園所 元気ひろば、リズム遊び、相撲遊び等の実施 ◆子育て相談センター 各種イベントの開催 ◆子育て相談センター・ツインスフレンズ「ミニ運動会」(10月) ・「親子で楽しむ運動遊び」(10月) ◆子育て相談センター・特別講座 「親子で楽しむ運動遊び」(9月) ・ツインスフレンズ「ミニ運動会」(10月)				
② 親子で楽しむ運動・スポーツ機会の充実	親子で参加できる各種スポーツ教室	スポーツ保健課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体					
			関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会					
			事業内容	親子で参加できる各種スポーツ教室を開催し、家族ぐるみで運動・スポーツに取り組むことができる機会の充実を図る。					
			成果	児童期対象の教室について、児童のスポーツの楽しさや充実感の醸成が図れた。その結果、乳幼児期に親を通じて運動の重要性を伝えることができたのと同時に、教室を通じて子育て世代同士のコミュニケーションを図る場の提供ができた。					
			課題	乳幼児を対象とした運動教室の実施には児童の親の出席が必要不可欠のため、子育て世代の親が参加しやすい時間や場所等を考慮し、参加しやすいプログラムの工夫と周知が必要である。					
			評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった				
				実施計画	目標 スポーツを通じて、親子のつながりを深めるとともに、親の子育てへの参画意識の醸成につなげる。 年度 H28 H29 H30 R1 R2 区分 継続 継続 継続 継続 継続 計画 乳幼児期対象 4教室 児童期対象 2教室 乳幼児期対象 4教室 児童期対象 2教室 乳幼児期対象 4教室 児童期対象 2教室 乳幼児期対象 4教室 児童期対象 2教室 乳幼児期対象 4教室 児童期対象 2教室 実績 乳幼児期対象 4教室 ・親子の体操教室(春・秋) ・親子の3B体操教室 ・幼児サッカー教室 児童期対象 2教室 ・楽しいスポーツ教室 ・ジュニアスポーツ教室 乳幼児期対象 4教室 ・親子の体操教室(春・秋) ・親子の3B体操教室 ・幼児サッカー教室 児童期対象 2教室 ・小学生スポーツ教室 ・夏休みジュニアスポーツ教室 乳幼児対象 4教室 ・親子の体操教室(春・秋) ・幼児サッカー教室(春・秋) 児童対象 2教室 ・小学生スポーツ教室 ・夏休みジュニアスポーツ教室				
③ 地域ぐるみで取り組む子どもの運動・スポーツ機会の充実	地域協働校	生涯学習課	実施主体	各推進組織					
			関係団体等	地域住民、市民サークル、老人会、企業・大学関係者 など					
			事業内容	学校・家庭・地域が、それぞれの持つ教育機能を生かしながら、子どもと大人が地域文化や、現代的課題等について学び合い、かわり合い、よろこび合い、認め合いの協働を積み重ねる社会を目指した活動を推進する。					
			成果	学校の地域協働校事業の取組で、命の授業(着衣泳)、伝統文化の継承(江州音頭)、クラブ活動・部活指導等、地域住民等の支援を得て行った。今年度、小学校では英語授業の時間数増加に伴い、地域協働校事業の精選が行われたり、悪天候で実施できなかったりした事業もあり、減少した。中学校では、部活指導者との日程調整が難しく減少した。					
			課題	地域住民等によるより専門的な指導は、今後の地域協働校事業の取組の中でも重要と考えるため、多くの方に支援していただけるよう、小学校では地域と学校の架け橋である地域コーディネーターを中心に、また、中学校では大学と連携する等、人材発掘する必要がある。					
			評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった				
				実施計画	目標 学校・家庭・地域の協働を通じて、生涯を通じた学びや活動に関心を持つことのできる機会の充実を図る。 年度 H28 H29 H30 R1 R2 区分 継続 継続 継続 継続 継続 計画 支援者数 200人 支援者数 205人 支援者数 210人 支援者数 215人 支援者数 220人 実績 支援者数 201人 ・スポーツ体験・交流活動 34回 141人 ・部活動 50回 60人 支援者数 280人 ・スポーツ体験・交流活動 57回 141人 ・部活動 106回 139人 支援者数 186人 ・スポーツ体験・交流活動 54回 128人 ・部活動 58回 58人 支援者数 703人 ・スポーツ体験・交流活動 84回 679人 ・部活動 24回 24人				

(1) 乳幼児・児童の運動(遊び)の推進

基本方針1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価							
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価		
④ トップアスリートと連携したスポーツ機会の充実	くさつMIO夢先生事業	スポーツ保健課	実施主体	草津市	目標	児童がスポーツの楽しさや素晴らしさを身近に感じ、スポーツをしたり、好きになるきっかけづくりにつなげる。					
			関係団体等	MIOびわこ滋賀、小学校	年度	H28	H29	H30	R1	R2	
			事業内容	市内の小学校においてMIOびわこ滋賀と連携した体育の授業を行い、児童とMIOびわこ滋賀の選手等のトップアスリートが交流できる機会の充実を図る。	区分	継続		継続		継続	
			成果	トップアスリートとの交流を通じて、児童がスポーツに限らず自分の夢や希望に向かって努力する大切さを認識した。また、昨年度に引き続き、スポーツ少年団事業でも事業を行うことができた。	計画	市内小学校 3校	市内小学校 5校	市内小学校 5校	市内小学校 5校	市内小学校 5校	
			課題	新規の小学校利用が少ないため、多くの学校で体験いただけるようPRしていく必要がある。	実績	市内小学校 5校 ・志津南小学校 6年 ・草津小学校 4年～6年 ・山田小学校 6年 ・玉川小学校 3年 ・常盤小学校 5年	市内小学校 4校/6回 ・渋川小学校 6年 ・老上小学校 4年 ・志津小学校 4年 ・玉川小学校 4年(3回)	市内小学校 4校 ・志津南小学校 6年 ・渋川小学校 6年 ・老上小学校(予定) ・草津中学校(予定) 市スポーツ少年団	市内小学校 2校 ・老上小学校 4年 2回 ・志津南小学校 5年 2回 ・市スポーツ少年団 ※渋川小学校は開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響		
			評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった							
(2) 学校体育の充実	① 授業内容の充実と体育指導の向上 小・中学校体力向上プロジェクト事業	スポーツ保健課	実施主体	草津市	目標	児童・生徒の体力向上と体育指導者の資質向上につなげる。					
			関係団体等	小学校体育連盟、中学校保健体育連盟、立命館大学	年度	H28	H29	H30	R1	R2	
			事業内容	児童が楽しみながら、体力向上を図れるよう、ダンス教室を開催する。また、児童・生徒が意欲的に体育授業に取り組めるよう、立命館大学と協働して授業内容の研究と充実を図るとともに、指導者の資質向上に努める。	区分	継続		継続		継続	
			成果	ダンス教室では、指導内容や方法を工夫していただくことで、昨年度より「ダンス教室がとても楽しかった」と回答する児童の割合が増加した。また、立命館大学の協力のもと新たな短時間運動プログラムの開発・検証や授業改善にも積極的に取り組んだ。また、全国的に新体力テストの結果が低下したなか、小5女子は上昇し、過去5年で最高の数値を示した。	計画	ダンス教室14回(小) 体育実技講習会 1回 体育実技研修会 1回	ダンス教室14回(小) 体育実技講習会 1回 体育実技研修会 1回	ダンス教室14回(小) 体育実技講習会 1回 体育実技研修会 1回	ダンス教室14回(小) 体育実技講習会 1回 体育実技研修会 1回	ダンス教室14回(小) 体育実技講習会 1回 体育実技研修会 1回	
			課題	児童・生徒の体力向上と体育指導者の資質向上に、より効果的な施策を実施していくためにも、関係団体との連携をより強化していく必要がある。	実績	ダンス教室14回(小) 体育実技講習会 1回 体育実技研修会 1回 短時間運動プログラム(小) 14校	ダンス教室14回(小) 体育実技講習会 1回 体育実技研修会 1回 短時間運動プログラム(小) 14校	ダンス教室14回(小) 体育実技講習会 0回 体育実技研修会 0回 短時間運動プログラム(小) 14校	ダンス教室14回(小) 体育実技講習会 1回 体育実技研修会 1回 短時間運動プログラム(小) 14校		
			評価	4 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった							
② 大学と連携した学校体育の充実	ジュニアスポーツフェスティバルKUSATSU	スポーツ保健課	実施主体	草津市	目標	児童が様々なスポーツの体験・出会いを通じて、運動をすることが好きになるきっかけづくりにつなげる。					
			関係団体等	小学校体育連盟、立命館大学	年度	H28	H29	H30	R1	R2	
			事業内容	市内の小学6年生が一堂に会するスポーツイベントを立命館大学と連携して開催し、日ごろの体育授業の取組の成果を発揮する場や大学の様々な運動部と交流できる機会をつくる。	区分	継続		継続		継続	
			成果	今年度は、昨年度に引き続き雨天プログラムを作成し、新たにバラスーツ体験ブースを加えた。当日は実施が危ぶまれるほどの、悪天候ではあったが、無事に実施できた。ブース運営の方々がわかりやすくスポーツの魅力を教えてください、評判も良かった。	計画	10月開催	10月開催	10月開催	10月開催	10月開催	
			課題	雨天時のプログラムをさらに充実させ、長縄8の字跳び以外の競技を体験することができないか検討をする必要がある。また雨天時に使用する準備物などを人数に応じて用意することが必要である。	実績	10月14日開催 市内小学6年生 1,300人参加	雨天のためクインスタジアムでの活動は中止	10月19日開催 市内小学6年生 1,330人参加	10月18日開催 市内小学6年生 1,330人参加		
			評価	4 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった							

基本方針1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価							
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価		
(3) 運動クラブ・部活動の充実	① 小・中学校体育連盟の連携強化	小・中学校体育連盟活動推進事業	スポーツ保健課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等	小学校体育連盟、中学校保健体育連盟	目標	小・中学校体育連盟の連携を強化し、運動クラブ・部活動の活性化を図る。				
				事業内容	学校間の運動クラブ・部活動にかかわる課題等の共有を図り、その解決策等について、協議・研究する機会の充実を図る。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
				成果	学校間の運動クラブ・部活動にかかわる課題等の共有を図るため、推進会議において意見交換を行った。部活動の活動時間や休養日について規定を設け、活動方針等を各中学校のホームページへの掲載等により公表した。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	今後、部活動の活性化を図るため、新たな方策についても検討を進める必要がある。また、大会前の練習時間の増加にも課題がみられるので、規定内で活動できるよう取組を進める。	計画	推進会議 年3回	推進会議 年3回	推進会議 年3回	推進会議 年3回	推進会議 年3回
				評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	推進会議 年3回	推進会議 年3回	推進会議 年2回	推進会議 年2回	
	② スポーツクラブ関係団体・体部や活大等の連携した運動	運動クラブ・部活動支援事業	スポーツ保健課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会、立命館大学	目標	児童・生徒の競技力や運動クラブ・部活動に取り組む意欲の向上につなげる。				
				事業内容	運動クラブ・部活動の充実した運営体制の構築を図るため、スポーツ関係団体や大学等と連携し、指導者や支援員の派遣等を行う。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
				成果	運動部活動の指導に不安を抱える部を対象に草津市スポーツ協会の人材バンクを活用した「運動部活動支援員制度」に加え、国の補助制度を利用して「運動部活動指導員制度」を実施した。	区分	検討	新規	継続	継続	継続
				課題	「運動部活動支援員制度」で構築したシステムをより効果的にするために、各関係団体等と、より綿密な連携が必要である。また、国の定める配置時間の多く、引率等も可能な「運動部活動指導員」の制度について拡充に取り組む必要がある。	計画	先進事例研究	新制度創設 支援件数 12件 (市内6中学校×2名配置)	新制度創設 支援件数 12件 (市内6中学校×2名配置)	支援件数 12件 (市内6中学校×2名配置)	支援件数 12件 (市内6中学校×2名配置)
				評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	・大津市事例研究 ・事業実施要項(案)作成	・「運動部活動支援員制度」の創設 ・支援件数12件 (市内6中学校×2名配置)	・「運動部活動支援員制度」 ・支援件数10件 (市内6中学校×1～2名配置) ・「運動部活動指導員制度」の創設 (市内2中学校×1名配置)	・「運動部活動支援員制度」 ・支援件数9件 (市内6中学校×1～2名配置) ・「運動部活動指導員制度」の創設 (市内2中学校×1名配置)	
(4) スポーツ少年団活動の活性化	① スポーツ少年団の支援	スポーツ少年団事業補助金	スポーツ保健課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等	スポーツ少年団(スポーツ協会)	目標	スポーツ少年団活動を促進し、団員確保につなげる。				
				事業内容	子どもが積極的にスポーツ活動を行い、心身の健全育成や仲間との交流等を生み出す環境を整えるため、スポーツ少年団活動の支援を行う。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
				成果	市内スポーツクラブの活動が活発になったことにより、児童が分散され、新規入団者数が伸び悩んだ。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、年度末の事業が2回中止された。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	子どもたちや保護者のニーズは多様化しているなか、魅力的なスポーツ少年団活動となるよう、啓発の強化や活動の充実等の取組を行う必要がある。	計画	団員数 800人	団員数 910人	団員数 940人	団員数 970人	団員数 1,000人
				評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	団体数 37団体 団員数 906人 事業実施回数 10回	団体数 38団体 団員数 953人 事業実施回数 10回	団体数 37団体 団員数 902人 事業実施回数 10回	団体数 37団体 団員数 861人 事業実施回数 8回	

基本方針1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価										
				実施計画										
(5) スポーツ傷害の予防	① スポーツ傷害に関する学習の推進	スポーツ傷害予防講習会	スポーツ保健課	実施主体	草津市									
				関係団体等	中学校保健体育連盟	目標	生徒のスポーツ障害に対する意識の醸成を図り、スポーツ活動中の事故等の予防に努める。							
				事業内容	生徒が自身や他者の健康や安全を保持していくことで、継続的にスポーツできるよう、中学校におけるスポーツ傷害に関する学習を推進する。H30からは中学生にとってより関心が高そうな内容に変更し、1回の時間を長くするなど事業の充実を図る。	年度	H28	H29	H30	R1	R2			
				成果	スポーツ傷害予防の講習会においては、傷害予防に関することを学ぶだけでなく、怪我の減少につながるトレーニングについても実習した。生徒の傷害予防に対する意識を高めるとともに、運動中の怪我の減少にもつながった。	区分	継続	継続	継続	継続	継続			
				課題	日頃の体育の授業や部活動の時間において、傷害予防につながるストレッチやトレーニングを自ら取り組めるよう、さらに具体的な実践方法について学ぶ機会の検討を進めていく。座学よりも実技の比重を増やし、生徒の満足度を高める。	計画	ドクター講習会 6回 トレーナー研修会 18回	ドクター講習会 6回 トレーナー研修会 18回	スポーツ傷害にかかる実技講習会 8回	スポーツ傷害にかかる実技講習会 8回	スポーツ傷害にかかる実技講習会 8回			
				評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	ドクター講習会 6回 トレーナー研修会 18回	ドクター講習会 6回 トレーナー研修会 18回	スポーツ傷害にかかる実技講習会 8回	スポーツ傷害にかかる実技講習会 8回				
				② スポーツ傷害を防ぐ指導者の育成	スポーツ指導者講習会	スポーツ保健課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体						
							関係団体等	スポーツ協会	目標	指導者のスポーツ障害に対する意識の醸成を図り、子どものスポーツ活動中の事故等の予防に努める。				
							事業内容	子どもが継続してスポーツに取り組んでいけるよう、スポーツ傷害に関する豊富な知識を持つ指導者の育成を図る。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
							成果	スポーツ協会では、競技団体やスポーツ少年団の指導者を対象とした講習会を開催した。理学療法士や大学教授を講師に迎え、怪我をしない体の使い方やストレッチの方法など、実技指導を交えた実践向けの講習会とした。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
課題	指導者にとって、関心の高いテーマとすることや、別の説明会と講習会を同時開催とするといった取組みにより、参加者が増加する工夫を引き続き行う必要がある。	計画	指導者講習会 1回 専門講座 3回				指導者講習会 1回 専門講座 3回	指導者講習会 1回 専門講座 3回	指導者講習会 1回 専門講座 3回	指導者講習会 1回 専門講座 3回				
評価	2 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	指導者講習会 1回				指導者講習会 2回	(スポーツ協会) 指導者講習会 2回	(スポーツ協会) 指導者講習会 2回					

基本方針2 生涯スポーツ活動の推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
				実施計画						
① 気軽に参加できるスポーツや健康づくり事業の推進	草津市民スポーツ・レクリエーション祭	スポーツ保健課	実施主体	体育振興会連絡協議会	実施計画					
			関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会	目標	身近にスポーツを感じられる機会の充実を図るとともに、スポーツを通じた世代間の交流につなげる。				
			事業内容	子どもから高齢者までみんなでスポーツを楽しむことができるニュースポーツ等を実施し、市内14学区の連携と親睦を図り、生涯スポーツの普及と発展、市民の健康促進を図る。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
			成果	YMITアリーナを会場とすることで、雨天の心配をすることなく開催できたことに加え、子どもを対象にした種目や学区対抗の種目、老若男女が楽しめるバウンドテニスといった新たな種目を実施した結果、各学区から多くの方に参加いただき、市民がスポーツに親しむ機会を創出することができた。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
			課題	会場がアリーナに限定され、また、開催時間もお昼までに短縮されたことから、実施内容の工夫や広報媒体を検討し、市民により親しんでもらえるようなイベントとしていく必要がある。	計画	参加者数 920人	参加者数 940人	参加者数 970人	参加者数 1,000人	参加者数 1,050人
			評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりでなかった 1:取り組まなかった	実績	参加者数 997人	参加者数 1,065人	参加者数 570人	参加者数 741人	
	ワールドマスターズゲームズ2021関西(ソフトボール競技)	スポーツ大会推進室	実施主体	草津市実行委員会	実施計画					
			関係団体等	草津市、県および市ソフトボール協会 他	目標	国内外、市内外から多くの方が参加する本大会を円滑に運営するとともに参加者等の交流機会の創出を図る。				
			事業内容	概ね30歳以上のスポーツ愛好者なら誰もが参加できる生涯スポーツの国際総合競技大会であるワールドマスターズゲームズについて、草津市ではソフトボール競技の開催が予定されていることから、その運営ならびに啓発等に取り組む。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
			成果	令和元年10月に市内のスポーツ関係団体や商業関係団体等の関係団体で組織する草津市実行委員会を設立した。また、大会開催に向けた周知啓発活動等を通じて大会PRを図れた。	区分				新規	継続
			課題	大会自体の認知度が低いことから、関係団体等と連携しながら、さらなる周知啓発に取り組む必要がある。併せて、開催前年を迎えて、準備業務や関係者との調整業務を着実に進める必要がある。	計画				○実行委員会の設立 ○競技運営の検討 ○交流事業の検討 ○ボランティアの確保 ○周知啓発活動の実施	○実行委員会の開催 ○競技運営の検討 ○交流事業の検討 ○ボランティアの確保 ○周知啓発活動の実施
			評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりでなかった 1:取り組まなかった	実績				○草津市実行委員会の設立 ○競技運営部会および広報・交流事業部会の開催 ○周知啓発活動の実施 みなくさまつりブース出展 えふえむ滋賀でのPR他	
(1) 身近なスポーツイベントの充実	草津川跡地公園での健康イベント	健康福祉政策課	実施主体	草津市	実施計画					
			関係団体等	草津まちづくり会社	目標	働く世代や元気な高齢者、子どもたちなど幅広い世代に対して、健康づくりや運動のきっかけづくりを図る。				
			事業内容	草津川跡地公園で実施されるイベントと併せて健幸イベントを実施する。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
			成果	今年度は「体を動かす健康」をメインにアウトドア要素を取り入れ、さらにオーガニック食材等の販売を行う「ファーマーズマーケット」を同時開催するなどし、集客につながる工夫を行った。体と食から健康意識を高めることのできるイベントとなった。	区分		新規	継続	継続	継続
			課題	秋のイベントが多く開催される時期であることから、集客増に向けた効果的な開催日程の検討や、市民の健康意識向上に向けた他イベントとの差別化を図った内容の工夫等が必要である。	計画		参加者数 100人	参加者数 1,500人	参加者数 1,500人	参加者数 1,500人
			評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりでなかった 1:取り組まなかった	実績		・健幸フェア 参加者 約1,300人 ・くさつ健幸ウオーク2017 (台風のため中止) ・わくわくサマーランドでも健幸イベント実施	・健幸フェア 参加者 1,138人 ・くさつ健幸ウオーク2018 参加者 320人	・健幸フェア 参加者 1,412人	

基本方針2 生涯スポーツ活動の推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価					
				実施計画					
② スポーツ活動機会の充実	チャレンジスポーツデー	スポーツ保健課	実施主体	草津市					
			関係団体等	スポーツ協会、体育振興会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員、立命館大学					
			事業内容	市内の社会体育施設等で誰もが参加できるスポーツイベントを開催し、市民の健康づくりと市民相互の交流を図る。					
			成果	昨年度に引き続き、スポーツ協会が事務局となり、競技団体や各学区、立命館大学と連携して、市内の社会体育施設等で誰もが参加できるスポーツイベントを開催し、市民の健康づくりと市民相互の交流を図ることができた。					
			課題	参加者が年々減少傾向であることから、各実施団体が内容を見直すことで、より気軽に参加できる環境を整える必要がある。					
			評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった				
				目標	様々なスポーツを体験できる機会を提供することで、市民のスポーツ活動機会の充実を図る。				
				年度	H28	H29	H30	R1	R2
				区分	継続	継続	継続	継続	継続
				計画	参加者数 5,800人	参加者数 5,900人	参加者数 6,000人	参加者数 6,100人	参加者数 6,200人
				実績	参加者数 5,006人	参加者数 4,604人	参加者数 4,426人	参加者数 4,337人	
③ 障害者が参加できる充実したスポーツイベントの支援	草津市いきいきふれあい大運動会	障害福祉課	実施主体	心身障害児者連絡協議会					
			関係団体等						
			事業内容	障害者団体と連携してスポーツイベントを開催し、障害者のスポーツ事業の充実を図るとともに、障害のある人とない人との交流につなげる。					
			成果	スポーツを通じて、障害のある人とない人との交流を深めることができた。					
			課題	重度の障害のある人も楽しめるような新たな競技を検討していく必要がある。					
			評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった				
				目標	障害のある人の体力向上と社会参加を促進する。				
				年度	H28	H29	H30	R1	R2
				区分	継続	継続	継続	継続	継続
				計画	参加者数 570人	参加者数 570人	参加者数 570人	参加者数 570人	参加者数 570人
				実績	参加者数 621人	参加者数 625人	参加者数 613人	参加者数 578人	
① ウォーキング	ウォーキング推進事業	スポーツ保健課	実施主体	スポーツ推進委員協議会、くさつ健・交クラブ					
			関係団体等						
			事業内容	年間を通じたウォーキング事業等を開催し、ウォーキングを通じた健康づくりを推進するとともに、年齢に応じたウォーキングや、ウォーキングを通じて交流ができる環境づくりを行う。					
			成果	歩こう会の実施や地域等でのノルディックウォークの普及促進を通じて、市内外の方にウォーキングをする機会の創出を行うことができた。また、歩こう会について、健康づくりに関する取組を積極的に進めていることを評価され、県の健康寿命延伸プロジェクト(地域部門)で最優秀賞を受賞した。					
			課題	より多くの市民がウォーキングやノルディックウォークに親しみ、継続して実施してもらえるような工夫を行う必要がある。					
			評価	4	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった				
				目標	誰でも気軽に取り組むことができるウォーキングを通じて、市民の健康づくりに対する機運の高まりにつなげる。				
				年度	H28	H29	H30	R1	R2
				区分	継続	継続	継続	継続	継続
				計画	歩こう会 12回 ノルディックサークル 38回 ノルディック大会開催検討	歩こう会 12回 ノルディックサークル 38回 くさつ健幸ウォーク2017開催 歩こう会記念事業検討	歩こう会 12回 ノルディックサークル 38回 くさつ健幸ウォーク開催 歩こう会記念事業開催	歩こう会 12回 ノルディックサークル 38回 くさつ健幸ウォーク開催	歩こう会 12回 ノルディックサークル 38回 くさつ健幸ウォーク開催
				実績	歩こう会 12回 歩こう会記録展示 2回 歩こう会記念事業検討 ノルディックサークル 38回 健幸ウォーク開催検討	歩こう会 12回 ノルディックサークル 42回 くさつ健幸ウォーク2017(※台風のため中止)申込者数252人 歩こう会600回記念事業下見・要綱策定	歩こう会 12回 歩こう会600回記念事業実施 ノルディックサークル 42回 ノルディックサークル 42回 参加者数 320人	歩こう会 12回 ノルディックサークル 40回(予定) 健康寿命延伸プロジェクト(地域部門) 最優秀賞受賞	

基本方針2 生涯スポーツ活動の推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価					
				実施計画					
	ングの推進	草津市版ヘルスツーリズム実証実験	商工観光労政課	実施主体	草津市観光物産協会				
				関係団体等					
				事業内容	「健幸」を意識しながら、着地型観光の観点から本市の多様な地域資源の掘り起こしを行い、旅行という非日常的な楽しみの中で本市独自のヘルスツーリズムとして健康増進を図る。				
				成果	草津市版ヘルスツーリズムとして売り出していくためのコンセプトを設定し、販売システムを導入したうえで、コンセプトに沿ったモニターツアーを8本催行することで、草津市観光物産協会による自動化の基礎を築くことができた。				
				課題	これまでのモニターツアーの結果を踏まえて、より魅力的な商品を作成し、売上を増やす必要がある。				
				評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった			
				目標	交流人口の増加や「健幸」が享受できる都市としての定着を図る。				
				年度	H28	H29	H30	R1	R2
				区分		新規	継続	検討	検討
				計画		①地域資源の掘り起こし ②ワークショップ ③実証実験(モニターツアー) ④課題の洗い出し	①実証実験(モニターツアー) ②ワークショップ ③課題の洗い出し	①着地型観光開発経験者の現地調査およびヒアリング ②着地型観光資源の素材発案会議 ③商品化会議 ④WEBページの作成 ⑤実証実験(モニターツアー)	前年度の結果を踏まえた事業展開
				実績	①地域資源リストの作成 ②5回 ③4回 ④課題の洗い出し	①8回 ②2回 ③課題の洗い出し	①着地型観光開発経験者への業務委託によるノウハウの移管を実施 ②着地型観光のブランド化に向けたコンセプト会議の実施 ③事業者との商品化会議を経て商品を作成 ④着地型観光に特化したWEBページの作成 ⑤8本のモニターツアーを実施		
(2) スポーツを通じた健康づくりの推進	② ランニングの普及	ランニングイベントの開催	都市再生課・スポーツ保健課	実施主体	民間事業者(草津川跡地テナントミックス事業内テナント)・健康都市くさつランフェスティバル実行委員会				
				関係団体等	草津まちづくり株式会社				
				事業内容	草津川跡地テナントミックス事業により誘致されるテナントとランニングステーションを活用したイベントや、誰もが気楽に参加できるランニングイベント「健康都市くさつランフェスティバル」を開催し、ランニングの普及を図り、健康づくりに対する機運を高める。				
				成果	草津川跡地公園de愛ひろばやniwa+(ニワタス)、旧街道エリアの跡地や寺社仏閣といった、中心市街地内の公共的空間を活用して、賑わい創出イベントを実施し、来場者にまちなかを歩いてもらきかけづくりを行うことで、健康づくりに貢献した。また、草津川跡地公園de愛ひろばにおいて、民間事業者主体で構成している、健康都市くさつランフェスティバル実行委員会においてランニングイベント開催に向け検討を行った。				
				課題	令和2年度は、草津川跡地公園de愛ひろばにおいて、健康都市くさつランフェスティバルを開催し、ランニングの普及を図っていく。また、中心市街地においては、賑わい創出のため、人の回遊性を高め、歩いて暮らせるまちづくりを進めることで、健康づくりに貢献しているが、ランニングに特化したイベント開催は予定しておらず、今後も別途検討していく必要がある。				
				評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった			
				目標	誰もが気軽に参加できるランニングイベントを開催し、ランニングによる健康づくりの普及につなげる。				
				年度	H28	H29	H30	R1	R2
				区分	検討	新規	継続	継続	継続
				計画	事業内容検討	イベント開催 年2回	イベント開催 年2回	イベント開催 年2回	イベント開催 年2回
				実績	事業内容検討	イベント開催 年2回 ・わくわくサマーランド(7月) ・健幸フェア(9月)	イベント開催 年3回 ・わくわくサマーランド(7月) ・ピクニックウィーク(4月) ・アウトドアフェス(3月)	イベント開催 年4回 ・ピクニックウィーク(4月) ・なぞときゲーム-草津宿本陣調査隊-(5月) ・草津小市(12月) ・コーヒーフェス(3月) ランフェス実行委員会開催7回	イベント開催 年1回 健康都市くさつランフェスティバル開催
	③ ライフステージに応じた事業の推進	くさつ健幸ポイント制度	健康増進課	実施主体	草津市				
				関係団体等					
				事業内容	市民の積極的な健康づくりを促進するため、けん診の受診や、健康講座への参加等、健康づくりに関する取り組み状況に応じてポイントを付与し、貯まったポイントで賞品の抽選に応募ができる。				
				成果	健康づくりに取り組む人のきっかけづくり、増加につながった。				
				課題	30～40歳代の働く世代を中心とした市民が健康づくりに取り組むきっかけとなるよう、様々な機会を捉えてアプリの周知を行う必要がある。				
				評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった			
				目標	健康づくりに対する関心の高まり、生活習慣改善に向けた行動変容のきっかけづくりやモチベーションの高まりにつなげる。				
				年度	H28	H29	H30	R1	R2
				区分	新規	継続	継続	継続	継続
				計画	ポイント付与期間 6月～12月	ポイント付与期間 1月～12月	ポイント付与期間 1月～12月	ポイント付与期間 1月～12月	ポイント付与期間 1月～12月
				実績	ポイント付与期間 6月～12月 ポイント交換者 703人	ポイント付与期間 1月～12月 ポイント交換期間 5月～2月 ポイント交換者 827人	ポイント付与期間 1月～12月 抽選応募期間 1月 BIWA-TEKUダウンロード者 1,469人 1000P以上取得者 138人	ポイント付与期間 1月～12月 抽選応募期間 1月 BIWA-TEKUダウンロード者 2,122人(2/7現在) 1000P以上取得者 323人	

基本方針2 生涯スポーツ活動の推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価	
	④ くさつ健康はつらつ体操等の普及・促進	くさつ健康はつらつ体操	健康増進課	実施主体	健康推進員連絡協議会					
				関係団体等						
				事業内容	地域のまつりや運動会、ふれあいサロン等において「くさつ健康はつらつ体操」を行い、体操の普及・促進に努め、市民の健康保持・増進を図る。					
				成果	多くの市民に運動啓発を行うことができた。					
				課題	より内容の充実を図るために、指導者の育成を充実させていく必要がある。					
				評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった				
				実施計画						
				目標	地域におけるくさつ健康はつらつ体操の普及と促進に努め、市民の健康増進につなげる。					
				年度	H28	H29	H30	R1	R2	
				区分	継続	継続	継続	継続	継続	
				計画	地域のイベントやサロンでの実施	地域のイベントやサロンでの実施	地域のイベントやサロンでの実施	地域のイベントやサロンでの実施	地域のイベントやサロンでの実施	
				実績	実施回数 19回 参加人数 5,508人	実施回数 16回 参加人数 3,849人	実施回数 19回 参加人数 4,610人	実施回数 9回 参加人数 4,291人		
	① 高齢者が気軽に参加できる事業の推進	老人クラブ活動支援	長寿いきがい課	実施主体	草津市					
				関係団体等	老人クラブ連合会					
				事業内容	老人クラブ連合会主催の「健康フェスティバル」等の高齢者が気軽に参加できる事業を支援し、高齢者の健康づくりの機会の充実を図る。					
				成果	高齢者の健康づくりの機会の充実を図るため、老人クラブが主催するノルディック・ウォーキングを活用した「健康ウォーキング」等、高齢者が気軽に参加できる事業の支援を行った。その結果、明るく活力のある高齢社会を実現させようとする機運の高まりにつながった。					
				課題	会員数が減少していることから、引き続き、老人クラブのPRについて、老人クラブ連合会と連携して力を入れていく必要がある。					
				評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった				
				実施計画						
				目標	社会福祉の増進を図り、明るく活力のある高齢社会の実現を目指す。					
				年度	H28	H29	H30	R1	R2	
				区分	継続	継続	継続	継続	継続	
				計画	健康フェスティバル、健康ウォーキング等の開催	健康フェスティバル、健康ウォーキング等の開催	健康フェスティバル、健康ウォーキング等の開催	健康フェスティバル、健康ウォーキング等の開催	健康フェスティバル、健康ウォーキング等の開催	
				実績	・グラウンドゴルフ大会(7月) ・健康フェスティバル(10月) ・高齢者福祉大会(12月) ・健康ウォーキング(5月、11月、12月、1月)	・グラウンドゴルフ大会(7月) ・高齢者福祉大会(12月) ・健康ウォーキング(毎月) (健康フェスティバル 雨天中止)	・グラウンドゴルフ大会(7月) ・健康フェスティバル(10月) ・高齢者福祉大会(12月) ・健康ウォーキング(6月、7月)	・健康フェスティバル(10月) ・高齢者福祉大会(11月) ・健康ウォーキング(6月、9月、11月) (グラウンドゴルフ大会 雨天中止)		
	② いきいき百歳体操等の普及・促進	いきいき百歳体操	長寿いきがい課	実施主体	草津市					
				関係団体等						
				事業内容	いきいき百歳体操等の軽運動の普及・促進により、地域ぐるみで高齢者の介護予防を推進する。					
				成果	地域ぐるみで高齢者の介護予防を推進するため、いきいき百歳体操に取り組む団体への継続支援や新規団体の立ち上げ支援、出前講座等による介護予防の普及啓発を行った。その結果、新たに体操に取り組む団体は5団体であり、いきいき百歳体操以外にも、草津南口からこんには体操や転倒予防体操に取り組む団体もあり、介護予防への意識の高まりや取り組み継続につながった。					
				課題	町内会単位で実施している場合が多いが、既に実施団体が町内会数の半数を超え団体数の増加が鈍化していること、また、参加者の高齢化や、会館の使用の関係等で中止する団体もある。新規参加者の獲得のための介護予防の普及啓発の方法や開催場所に関しても検討が必要。					
				評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった				
				実施計画						
				目標	身体を動かすことにより高齢者の介護予防を推進し、高齢者の元気で健康な暮らしにつなげる。					
				年度	H28	H29	H30	R1	R2	
				区分	継続	継続	継続	継続	継続	
				計画	地域においていきいき百歳体操や、転倒予防に関する取り組みを実施する。	地域においていきいき百歳体操や、転倒予防に関する取り組みを実施する。	地域においていきいき百歳体操や、転倒予防に関する取り組みを実施する。	地域においていきいき百歳体操や、転倒予防に関する取り組みを実施する。	地域においていきいき百歳体操や、転倒予防に関する取り組みを実施する。	
				実績	実施団体数 116団体	実施団体数 120団体	実施団体数 119団体 (転倒予防体操 59団体)	実施団体数 122団体 (転倒予防体操 59団体)		

(3) 高齢者の健康づくりの推進

基本方針2 生涯スポーツ活動の推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価							
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価	実施計画	
(4) 食育による健康づくりの推進	① 子どもの食育の推進	離乳食レストラン	子育て相談センター	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等	健康推進員連絡協議会	目標	子育てを行う保護者が、離乳食の進め方を習得するとともに、保護者同士の交流により、それぞれが持つ育児不安の解消につなげる。				
				事業内容	子育てを行う保護者が、離乳食のレシピや試食、栄養バランス等に関する食育について学び、保護者同士の交流や座談会を行う。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
				成果	離乳食レストランに参加する保護者が、離乳食の調理見学や試食を行い離乳食について理解を深めることができた。また栄養バランス等に関する食育について学ぶことができた。保護者同士の交流や座談会をすることで保護者の不安の軽減や疑問の解消につながった。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	2回参加したいとの声もあり、R2年度はまちづくりセンター開催日(21回中13回)においては2回目の参加も可能とし、離乳食を進める中で継続して出てくる不安や疑問に対応する。	計画	月2回程度	月2回程度	月2回程度	月2回程度	月2回程度
	評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	年間20回開催	年間20回開催	年間20回開催	年間21回開催			
	② 高齢者の食育の推進	草津歯口からこんには体操	長寿いきがい課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等		目標	食べることにより高齢者の介護予防を推進し、高齢者の元気で健康な暮らしにつなげる。				
				事業内容	草津歯口からこんには体操の普及・促進により、食べることを通じて、高齢者の健康な体づくりにつなげる。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
				成果	食べることを通じて高齢者の健康づくりを推進するため、草津歯口からこんには体操に取り組む団体への継続支援や新規団体の立ち上げ支援、出前講座等による普及啓発を行った。その結果、新たに体操に取り組む団体が8団体増加し、健康づくりへの意識の高まりや、取り組み継続につながった。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
課題				既にいきいき百歳体操に取り組んでいる団体が、草津歯口からこんには体操も合わせて実施しているが、いきいき百歳体操の実施団体数の増加が緩やかになっていることから、草津歯口からこんには体操の団体数も増加が鈍化しているため、介護予防の普及啓発について検討が必要。	計画	地域において草津歯口からこんには体操の取り組みを実施する。	地域において草津歯口からこんには体操の取り組みを実施する。	地域において草津歯口からこんには体操の取り組みを実施する。	地域において草津歯口からこんには体操の取り組みを実施する。	地域において草津歯口からこんには体操の取り組みを実施する。	
評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	実施団体数 77団体	実施団体数 85団体	実施団体数 89団体	実施団体数 96団体				

基本方針3 地域コミュニティによるスポーツの推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価											
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価	実施計画					
(1) スポーツ推進委員活動の活性化	① 地域のスポーツ活動の活性化	スポーツ推進委員指導力向上事業	スポーツ保健課	実施主体	スポーツ推進委員協議会					実施計画					
				関係団体等						目標	スポーツ推進委員の指導力向上を図り、地域におけるスポーツのコーディネータとして各地域のスポーツ活動を推進する。				
				事業内容	滋賀県スポーツ推進委員協議会等が主催する各種研修会への参加や、スポーツ推進委員相互の連携・交流を図り、スポーツ推進委員活動を推進する。					年度	H28	H29	H30	R1	R2
				区分	継続					区分	継続				
				計画	自己研修会を4回実施することで、より多くのスポーツ推進委員が研修会へ参加することができた。また、県バウンドテニス協会と連携した研修等を実施した結果、スポーツ推進委員としての資質向上につなげることができた。					計画	研修会参加回数 5回 自己研修会回数 2回	研修会参加回数 5回 自己研修会回数 2回	研修会参加回数 5回 自己研修会回数 2回	研修会参加回数 5回 自己研修会回数 2回	研修会参加回数 5回 自己研修会回数 2回
				課題	県域や自己研修会以外の研修会参加者が固定化されやすいことから、引き続き、自己研修会の内容を工夫し、多様な研修会の開催を検討していく必要がある。					実績	研修会参加回数 5回 ・県域3、近畿1、全国1 自己研修会回数 2回 ・スポレク実技研修 ・スーパーカラム研修	研修会参加回数 5回 ・県域3、近畿1、全国1 自己研修会回数 4回 ・スポレク実技研修 ・スーパーカラム等研修2 ・救命講習1	研修会参加回数 5回 ・県域2、近畿1、全国1、指 導者講習会1 自己研修会回数 3回 ・スポレク実技研修1 ・ニュースポーツ実技研修1 ・救命講習1	研修会参加回数 5回 ・県域3、近畿1、全国1 自己研修会回数 4回 ・スポレク実技研修1 ・ニュースポーツ実技研修2 (スーパーカラム、バウンドテニス) ・救命講習1	
	評価	4 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった													
	② 地域各種団体等との連携によるスポーツ活動の推進	スポーツ推進委員活動推進事業	スポーツ保健課	実施主体	スポーツ推進委員協議会					実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、各体育振興会、各地域スポーツクラブ					目標	スポーツ推進委員の積極的な協力により、地域等におけるスポーツ活動の活性化につなげる。				
				事業内容	地域の各種団体等が行うスポーツ活動に積極的に協力し、より効率的・効果的なスポーツ活動を推進する。					年度	H28	H29	H30	R1	R2
				区分	継続					区分	継続				
				計画	市民や各種団体の依頼により、ニュースポーツの出前講座を積極的に行うことで、スポーツ機会の充実とニュースポーツの推進ができた。					計画	協力事業数 4 出前講座回数 3回	協力事業数 4 出前講座回数 3回	協力事業数 4 出前講座回数 3回	協力事業数 4 出前講座回数 3回	協力事業数 4 出前講座回数 3回
課題				協力事業の依頼内容や、出前講座の内容が幅広いことから、それぞれのニーズに応じた指導ができるよう、研修会に積極的に参加するなど指導力向上に努める必要がある。					実績	協力事業数 4 ・健・交フェスタ ・スポーツレクリエーション祭 ・駅伝競走大会 ・レイクサイドマラソン ・育成会 他 出前講座回数 6回	協力事業数 4 ・スポーツレクリエーション祭 ・レイクサイドマラソン 他 出前講座回数 4回 ・育成会 他 「ニュースポーツのすすめ」見直し	協力事業数 5 ・健・交フェスタ ・スポーツレクリエーション祭 ・くさつ健幸ウオーク ・駅伝競走大会 他 出前講座回数 3回 ・草津小学校 ・洪川やすらぎ学級 ・こなんSSN	協力事業数 5 ・健・交フェスタ ・スポーツレクリエーション祭 ・駅伝競走大会 ・レイクサイドマラソン 他 ・くさつ市障がい児者交流のつどい 出前講座回数 3回 ・こなんSSN ・山田まちづくり協議会 他		
評価	4 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった														
(2) 体育振興会活動の活性化	① 学区単位のスポーツ活動の活性化	地域スポーツイベントの開催	スポーツ保健課	実施主体	各体育振興会					実施計画					
				関係団体等	各スポーツ推進委員					目標	地域のスポーツ活動の活性化により、地域内の交流や学区間の連携強化につなげる。				
				事業内容	学区運動会をはじめとした地域の各種スポーツイベントの活性化を図る。					年度	H28	H29	H30	R1	R2
				区分	継続					区分	継続				
				計画	各地域で、運動会やチャレンジスポーツデー、ニュースポーツ体験をはじめとしたスポーツイベントを開催し、スポーツを通じた地域内交流の機会とできた。					計画	各地域において、学区運動会やチャレンジスポーツデー等のスポーツイベントを開催する。	各地域において、学区運動会やチャレンジスポーツデー等のスポーツイベントを開催する。	各地域において、学区運動会やチャレンジスポーツデー等のスポーツイベントを開催する。	各地域において、学区運動会やチャレンジスポーツデー等のスポーツイベントを開催する。	各地域において、学区運動会やチャレンジスポーツデー等のスポーツイベントを開催する。
				課題	地域によっては、若い世代の参加者が少ない状況等があるため、開催日やプログラム等を工夫し、より多くの方が参加しやすい環境づくりを行う必要がある。					実績	各地域において、学区や町内会単位の運動会やチャレンジスポーツデーをはじめとしたスポーツイベントを開催した。	各地域において、学区や町内会単位の運動会やチャレンジスポーツデー、ニュースポーツ体験等のスポーツイベントを開催した。	各地域において、学区や町内会単位の運動会やチャレンジスポーツデー、ニュースポーツ体験等のスポーツイベントを開催した。	各地域において、学区や町内会単位の運動会やチャレンジスポーツデー、ニュースポーツ体験等のスポーツイベントを開催した。	
	評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった													

基本方針3 地域コミュニティによるスポーツの推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価							
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価	実施計画	
(3) 総合型地域スポーツクラブ設立の支援	① 地域スポーツクラブ設立の支援	地域スポーツクラブ設立支援事業	スポーツ保健課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等	各体育振興会、各スポーツ推進委員	目標	地域スポーツクラブの設立により、市民が身近にスポーツができる環境づくりにつなげる。				
				事業内容	市民が身近にスポーツができる環境を整えるため、学区単位の地域スポーツクラブ設立の支援を行う。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
				成果	学校開放事業の運営支援など設立後の支援を通じて、組織の安定化に努めた。	区分	検討	新規	継続	継続	継続
				課題	まだクラブを設立していない地域に働きかけを行うとともに、既存のクラブについて、持続可能なクラブ運営ができるよう、運営の在り方について考える機会の創出を図る必要がある。	計画	先進事例研究	支援制度創設 設立クラブ数 5クラブ	設立クラブ数 6クラブ	設立クラブ数 7クラブ	設立クラブ数 8クラブ
				評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	市内先進地域の事例研究(志津スポーツクラブの取組について)	補助金要綱の設置 設立クラブ数 5クラブ(うち新設1クラブ)	設立クラブ数 5クラブ(対象学区:6学区)	設立クラブ数 5クラブ(対象学区:6学区)	
	② 総合型地域スポーツクラブの活性化	総合型地域スポーツクラブ事業補助金	スポーツ保健課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等	くさつ健・交クラブ	目標	くさつ健・交クラブの活発な活動により、市民が多様なスポーツ活動を行える環境づくりにつなげる。				
				事業内容	くさつ健・交クラブの活動基盤を強化するための支援を行い、活発な活動を促進し、市民の多様なスポーツニーズに対応したスポーツメニューの提供やスポーツができる環境を整える。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
				成果	2名分の人件費補助を行い、クラブ運営体制を強化し、活動の促進につなげた。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	運営や事業の見直し等により持続可能なクラブとするための体制強化に努める必要がある。	計画	クラブ会員数 600人	クラブ会員数 630人	クラブ会員数 660人	クラブ会員数 690人	クラブ会員数 720人
				評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	クラブ会員数 576人	クラブ会員数 583人	クラブ会員数 565人	クラブ会員数 588人(2月25日現在)	
(4) 各種関係団体との連携強化	① 各種関係団体との連携強化	各種関係団体と連携したスポーツ活動	スポーツ保健課	実施主体	各体育振興会	実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員、地域スポーツクラブ	目標	地域の各種スポーツイベント等の充実により、地域住民の主体的なイベント参画につなげる。				
				事業内容	地域の各種スポーツイベント等の充実を図るため、各種関係団体との連携を強化し、効率的・効果的なスポーツ活動を推進する。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
				成果	スポーツ推進委員の地域での活動の呼びかけや、体育振興会連絡協議会での情報交換を通じて、各学区における運動会や各種イベントの活性化を図った。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	継続的な活動のために各団体が一層、連携を強化し、日常的な情報交換等を行う必要がある。	計画	各学区において、スポーツ推進委員をはじめとした各関係団体と連携し、運動会やチャレンジスポーツデー等の各種スポーツ大会を開催する。	各学区において、スポーツ推進委員をはじめとした各関係団体と連携し、運動会やウォーキングイベント、チャレンジスポーツデー等の各種スポーツ大会を開催する。	各学区において、スポーツ推進委員をはじめとした各関係団体と連携し、運動会やウォーキングイベント、チャレンジスポーツデー等の各種スポーツ大会を開催する。	各学区において、スポーツ推進委員をはじめとした各関係団体と連携し、運動会やウォーキングイベント、チャレンジスポーツデー等の各種スポーツ大会を開催する。	各学区において、スポーツ推進委員をはじめとした各関係団体と連携し、運動会やウォーキングイベント、チャレンジスポーツデー等の各種スポーツ大会を開催する。
				評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	各学区において、スポーツ推進委員をはじめとした各関係団体と連携し、運動会やウォーキングイベント、チャレンジスポーツデー等の各種スポーツ大会を開催した。	各学区において、スポーツ推進委員をはじめとした各関係団体と連携し、運動会やウォーキングイベント、チャレンジスポーツデー等の各種スポーツ大会を開催した。	各学区において、スポーツ推進委員をはじめとした各関係団体と連携し、運動会やウォーキングイベント、チャレンジスポーツデー等の各種スポーツ大会を開催した。	各学区において、スポーツ推進委員をはじめとした各関係団体と連携し、運動会やウォーキングイベント、チャレンジスポーツデー等の各種スポーツ大会を開催した。	

基本方針3 地域コミュニティによるスポーツの推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価											
				実施計画					実績						
(5) 大学や企業等との連携強化	① 大学等と連携したスポーツ活動の推進	大学等と連携したスポーツ活動	スポーツ保健課	実施主体	各体育振興会					目標	地域住民と学生・生徒の交流を通じて、地域のスポーツ活動の活性化につなげる。				
				関係団体等	立命館大学、市内高等学校					年度	H28	H29	H30	R1	R2
				事業内容	地域のスポーツ活動において大学や高等学校等と連携し、大学等の専門性を生かした幅広いスポーツ活動を推進する。					区分	継続				
				成果	立命館大学の協力のもと、地域における健康バンドやウォーキング事業が展開された。その結果、より専門性の高い運動メニューが住民に提供され、自主的に運動に取り組む住民が増えた。					計画	立命館大学や地域に所在する高等学校等と連携し、地域住民と学生・生徒が交流できるスポーツイベント等を開催する。				
				課題	他の地域へ取組を広げていくために、先進事例を広く情報提供していく必要がある。						立命館大学や地域に所在する高等学校等と連携し、地域住民と学生・生徒が交流できるスポーツイベント等を開催する。				
	評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった			実績	立命館大学の協力のもと、地域において健康バンドやウォーキング事業を実施した。								
	② 企業等と連携したスポーツ活動の推進	くさつMIO夢先生事業	スポーツ保健課	実施主体	草津市					目標	地域住民がプロスポーツを身近に感じ、スポーツに対する関心の高まりや意識の醸成につなげる。				
				関係団体等	MIOびわこ滋賀					年度	H28	H29	H30	R1	R2
				事業内容	地域においてMIOびわこ滋賀の持つ専門性を生かしたスポーツメニューの提供や地域のスポーツイベント等への協力を行う。					区分	継続				
				成果	少年サッカー大会等の開催に併せて、MIOびわこ滋賀の選手によるサッカー教室を行った結果、地域住民と選手等の交流につながり、身近にプロ選手の技術など感じる機会が持てた。					計画	市内2地域				
課題				引き続き、専門性を活かしたサッカー教室やイベントを行い、地域住民等との交流機会を創出していく必要がある。					市内3地域						
評価	4	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった			実績	市内1地域									

基本方針4 競技スポーツの推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価							
				実施計画							
(1) スポーツ協会活動の活性化	① スポーツ協会の支援	スポーツ協会運営・事業補助金	スポーツ保健課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会	目標	競技団体の統括組織として、スポーツ協会事務局の適正な運営体制を継続的に整えていく。				
				事業内容	競技団体の活発な活動を促進するため、競技団体を統括する体育協会の運営や活動の支援を行う。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
				成果	新たに専務理事分の補助を行うことで、スポーツ協会の運営体制の強化を図り、その機能の向上につなげた。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	今後のスポーツ協会の運営や、国民体育大会等の大規模大会に向けて、一層の働きへの期待が高まることから、運営体制を強化する必要がある。	計画	体育協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整える。	体育協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整える。事務局体制の強化を行うために新たに1名分の人件費補助を行う。	スポーツ協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整える。	スポーツ協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整える。	スポーツ協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整える。
				評価	3 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった	実績	体育協会の適正な運営体制を整えるため、補助金を交付し、その運営や活動を支援した。	体育協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整えた。事務局体制の強化を行うために新たに1名分の人件費補助を行った。	スポーツ協会の運営や活動の支援を引き続き行い、適正な運営体制を整えた。事務局体制の強化をさらに図るため、従来の事務局員のうち1名を、新たに正規職員として雇用する人件費補助を行った。		
	② 国民体育大会に向けた競技力の向上	国民体育大会に向けた選手の発掘・育成	スポーツ保健課	実施主体	スポーツ協会	実施計画					
				関係団体等		目標	若い世代の選手の発掘・育成を図ることで、各種競技スポーツの競技力向上につなげる。				
				事業内容	競技団体と連携し、国民体育大会に向けた選手の発掘・育成を図る。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
				成果	年度末の事業については新型コロナウイルス感染症の影響により中止したが、競技団体と連携し、スポーツ教室や講習会を開催することで、ジュニア世代の競技力向上につなげた。	区分	検討	検討	新規	継続	継続
				課題	指導者の確保・育成ならびに選手の発掘・育成が一層推進できる仕組みを検討していく必要がある。	計画	競技力向上のためのスポーツ教室や講習会の参加者数 500人	競技力向上のためのスポーツ教室や講習会の参加者数 600人	競技力向上のためのスポーツ教室や講習会の参加者数 700人	競技力向上のためのスポーツ教室や講習会の参加者数 800人	競技力向上のためのスポーツ教室や講習会の参加者数 900人
				評価	3 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった	実績	・サッカー教室 177人 ・グラウンドゴルフ教室 4人 ・テニス教室 132人 ・剣道教室 36人	・サッカー教室 167人 ・グラウンドゴルフ教室 6人 ・野球教室(小・中学生) 27人 ・テニス教室 26人 ・剣道教室 24人 ・少年少女スポーツ教室(共催事業) 270人	・サッカー教室 115人 ・野球教室(小・中学生) 250人 ・テニス教室 27人 ・剣道教室 24人 ・少年少女スポーツ教室(共催事業) 584人	・サッカー教室 128人 ・野球教室 150人 ・テニス教室 3月中止 ・剣道教室 3月中止 ・少年少女スポーツ教室(共催事業) ●●●人	
(2) スポーツ少年団活動の活性化	① スポーツ少年団の支援	スポーツ少年団事業補助金	スポーツ保健課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等	スポーツ少年団(スポーツ協会)	目標	スポーツ少年団活動を促進し、団員確保につなげる。				
				事業内容	子どもが積極的にスポーツ活動を行い、心身の健全育成や仲間との交流等を生み出す環境を整えるため、スポーツ少年団活動の支援を行う。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
				成果	市内スポーツクラブの活動が活発になったことにより、児童が分散され、新規入団者数が伸び悩んだ。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、年度末の事業が2回中止された。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	子どもたちや保護者のニーズは多様化しているなか、魅力的なスポーツ少年団活動となるよう、啓発の強化や活動の充実等の取組みを行う必要がある。	計画	団員数 880人	団員数 910人	団員数 940人	団員数 970人	団員数 1,000人
				評価	3 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった	実績	団体数 37団体 団員数 906人 事業実施回数 10回	団体数 38団体 団員数 953人 事業実施回数 10回	団体数 37団体 団員数 902人 事業実施回数 10回	団体数 37団体 団員数 861人 事業実施回数 8回	

基本方針4 競技スポーツの推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価							
				実施主体	関係団体等	目標	年度	区分	計画	実績	
(3) 各種大会出場者への支援	① 激励金の交付	スポーツ選手各種大会出場激励金	スポーツ保健課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等		目標	選手の大会参加や競技に取り組む意欲の向上につなげる。				
				事業内容	競技に取り組む選手の側面的支援を行うため、各種大会出場者に激励金を交付する	年度	H28	H29	H30	R1	R2
				成果	激励金の交付を通じて、競技に取り組む選手の励みの一つとした。	区分	継続		継続	継続	継続
				課題	国スポやオリンピックを控え、各種大会に参加される選手が多く、交付対象となる大会の拡大等を望む意見があることから、今後のスポーツ情勢の変化に的確に対応していく必要がある。	計画	各種大会出場者に激励金を交付する。	各種大会出場者に激励金を交付する。	各種大会出場者に激励金を交付する。	各種大会出場者に激励金を交付する。	各種大会出場者に激励金を交付する。
				評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	交付件数 74件	交付件数 77件	交付件数 82件	交付件数 85件(2月末現在)	
(3) 各種大会出場者への支援	② スポーツ顕彰の実施	草津市民スポーツ大賞	スポーツ保健課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等		目標	選手の競技に取り組む意欲の向上と、選手の活躍が市民の勇気と感動につなげる。				
				事業内容	オリンピックや世界選手権大会等において、極めて優秀な成績をおさめられた選手を「草津市民スポーツ大賞」で表彰し、スポーツ功労をたたえる。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
				成果	今年度は、スポーツ大賞の該当者がいなかったため、表彰に至らなかった。	区分	継続		継続	継続	継続
				課題	必要に応じて、受賞基準の見直し等を進める必要がある。	計画	世界選手権大会等において、極めて優秀な成績をおさめられた選手を「草津市民スポーツ大賞」で表彰する。	世界選手権大会等において、極めて優秀な成績をおさめられた選手を「草津市民スポーツ大賞」で表彰する。	世界選手権大会等において、極めて優秀な成績をおさめられた選手を「草津市民スポーツ大賞」で表彰する。	世界選手権大会等において、極めて優秀な成績をおさめられた選手を「草津市民スポーツ大賞」で表彰する。	世界選手権大会等において、極めて優秀な成績をおさめられた選手を「草津市民スポーツ大賞」で表彰する。
				評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	受賞者数 0人	受賞者数 1人	受賞者数 0人	受賞者数 0人	
(4) 障害者スポーツの推進	① 障害者アスリートへの支援	障害者アスリート各種大会出場激励金	障害福祉課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等		目標	障害のある人の各種大会参加や競技へ取り組む意欲の向上につなげる。				
				事業内容	パラリンピックや全国障害者スポーツ大会等の出場者に激励金を交付する。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
				成果	全国障害者スポーツ大会等の出場者に激励金を交付した。その結果、選手の競技へ取り組む意欲の向上につながった。	区分	継続		継続	継続	継続
				課題	障害者の競技スポーツをより一層推進するためには、練習や大会の移動に対する支援についても検討する必要がある。	計画	各種大会出場者に激励金を交付する。	各種大会出場者に激励金を交付する。	各種大会出場者に激励金を交付する。	各種大会出場者に激励金を交付する。	各種大会出場者に激励金を交付する。
				評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	交付件数 3件	交付件数 7件	交付件数 9件	交付件数 1件(見込)	

基本方針4 競技スポーツの推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価							
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価		
	福②草津市立障害者福祉センターによる障・害者スポーツの連携による障・害者スポーツ	滋賀県障害者スポーツ大会	障害福祉課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等		目標	障害者スポーツの裾野の拡大と競技力の向上を図る。				
				事業内容	各種関係団体等と連携し、スポーツに取り組む選手の滋賀県障害者スポーツ大会への参加を支援する。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
				成果	各種関係団体等と連携し、滋賀県障害者スポーツ大会への参加を支援した。その結果、障害者スポーツの競技力向上につながった。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	障害者スポーツの競技人口を増やすため、魅力などを広くPRする必要がある。	計画	参加者数 65人	参加者数 65人	参加者数 65人	参加者数 65人	参加者数 65人
				評価	2 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	参加者数 62人	参加者数 67人	参加者数 37人	参加者数 36人	
(5) 将来を担うアスリートの育成	①ジュニアアスリートの育成	各種ジュニアスポーツ教室	スポーツ保健課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体	実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会	目標	スポーツ教室を通じて、ジュニア選手の発掘や継続的なスポーツ活動の支援につなげる。				
				事業内容	スポーツ関係団体等と連携して、専門的な技術を持つ指導者を招いたスポーツ教室を開催し、ジュニアアスリートの育成を図る。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
				成果	全国大会優勝チームの監督や滋賀レイクスターズの選手、また、福岡ソフトバンクホークス所属の松田選手などのトップアスリートを講師に招聘し高度で質の高い指導を行いジュニア選手に夢と希望を与えとともに、競技力の向上をはかった。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	中学生対象の教室について、応募人数が少なく中止になったことから、教室開催時期等に配慮した教室開催を引き続き検討する必要がある。	計画	小学生対象 6教室 中学生対象 1教室	小学生対象 6教室 中学生対象 1教室	小学生対象 6教室 中学生対象 1教室	小学生対象 6教室 中学生対象 1教室	小学生対象 6教室 中学生対象 1教室
				評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	小学生対象 6教室 バレーボール教室 バスケットボール教室 ソフトテニス教室(春・秋) 少年少女スポーツ教室 小学生野球教室 中学生対象 1教室 中学生バレーボール教室	小学生対象 8教室 バレーボール教室 バスケットボール教室 小学生野球教室 ガールズサッカー教室 レスリング教室 他 中学生対象 1教室 中学生バレーボール教室	小学生対象9教室 バレーボール教室 バスケットボール教室 レスリング教室・ソフトテニス教室 ジュニア卓球教室・小学生野球教室	小学生対象9教室 バレーボール教室 バスケットボール教室 レスリング教室・ソフトテニス教室 ジュニア卓球教室・小学生野球教室 ガールズサッカー教室 テニス教室・剣道教室 中学生対象	バレーボール教室(中止) ※応募人数が少なく中止
(5) 将来を担うアスリートの育成	②専門性を生かしたアスリートの育成	大学・企業等と連携したアスリートの育成	スポーツ保健課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体	実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会、立命館大学	目標	大学等の専門性を生かしたアスリートの育成や支援ができる機会を継続的に提供する。				
				事業内容	大学等と連携し、より専門性の高い指導を行うなど、それぞれの専門的観点からアスリートの育成や支援を行う。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
				成果	スポーツトレーナーを招き、実施主体と関係団体が連携しトレーニング講習会や体力測定会に携わっていただくことで、専門性の高い支援の充実に努めた。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	更なる参加者の拡大やアスリート育成に向けた事業となるよう研究を進める必要がある。	計画	スポーツ講座 3回	スポーツ講座 3回	スポーツ講座 3回	スポーツ講座 3回	スポーツ講座 3回
				評価	4 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	スポーツ講座 2回	スポーツ指導 週1回	・トレーニング講習会 月6回 ・体力測定会	・トレーニング講習会 月5回 ・体力測定会	

基本方針4 競技スポーツの推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価								
				実施計画								
① 草津市民体育大会の開催	草津市民体育大会	草津市民体育大会	スポーツ保健課	実施主体	草津市	実施計画						
				関係団体等	スポーツ協会	目標	大会の開催を通じて、選手個々の競技力の向上を図り、各競技全体の競技力向上につなげる。					
				事業内容	県民体育大会の選手選考会を兼ねた「草津市民体育大会」を種目別に開催し、選手の日ごろの練習の成果を発揮する場や選手間の交流する機会を提供する。	年度	H28	H29	H30	R1	R2	
				成果	各競技に取り組む選手の日ごろの練習の成果を発揮する場とするとともに、選手間の交流を通じて選手の競技に取り組む意欲の向上につなげた。	区分	継続		継続		継続	
				課題	種目によっては、参加者の減少傾向があることから、開催日程の工夫を行うなど、参加しやすい環境づくりと効果的な大会周知を行う必要がある。	計画	参加者数 1,900人	参加者数 2,000人	参加者数 2,100人	参加者数 2,200人	参加者数 2,300人	
				評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	参加者数 2,508人	参加者数 2,390人	参加者数 2,085人	参加者数 2,165人		
(6) 競技大会の推進	② 各種競技大会の推進	各種競技大会	スポーツ保健課	実施主体	草津市	実施計画						
				関係団体等	スポーツ協会	目標	大会の開催を通じて、各競技の競技人口拡大につなげる。					
				事業内容	「草津市武道祭」や「草津市駅伝競走大会」等、競技力の向上につながる各種競技大会を開催する。	年度	H28	H29	H30	R1	R2	
				成果	「草津市駅伝競走大会」において、県内中学校や過去の参加者に案内を行うなど、広報周知を積極的に行った結果、昨年を上回る参加申込があった。	区分	継続		継続		継続	
				課題	引き続き、事業内容や周知啓発の工夫を行い、参加しやすい環境づくりに向けて、関係競技団体と連携していく必要がある。	計画	武道祭参加者数 320人 駅伝参加チーム数 145チーム	武道祭参加者数 320人 駅伝参加チーム数 145チーム	武道祭参加者数 320人 駅伝参加チーム数 145チーム	武道祭参加者数 320人 駅伝参加チーム数 145チーム	武道祭参加者数 320人 駅伝参加チーム数 145チーム	
				評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	武道祭参加者数 250人 駅伝参加チーム数 125チーム	武道祭参加者数 200人 駅伝参加チーム数 113チーム	武道祭参加者数 200人 駅伝参加チーム数 119チーム	武道祭参加者数 200人 駅伝参加チーム数 126チーム		
	② 各種競技大会の推進	第79回国民スポーツ大会、第24回全国障害者スポーツ大会	スポーツ大会推進室	実施主体	草津市	実施計画						
				関係団体等	スポーツ協会 他	目標	本市の競技スポーツの推進やスポーツ人口の拡大等に向けて、本大会の開催が一層の取組を図る契機とする。					
				事業内容	本市では複数の競技内定をいただいていることから、実行委員会(準備委員会)を設立して各種の開催準備を進める。	年度	H28	H29	H30	R1	R2	
				成果	競技団体等と連携して、競技用具や競技役員数等の準備計画の策定をはじめ、大会に向けた諸検討を通じて、着実に大会準備を進めた。また、今年度内定したバウンドテニスの体験会を草津市スポーツ・レクリエーション祭で実施し、競技の啓発を通じて大会の周知につなげた。	区分				新規	継続	
				課題	令和6年の開催に向けて、引き続き、大会周知をはじめとする準備業務を関係機関等と連携しながら取り組む必要がある。	計画				・準備委員会の設立準備 ・各種計画の検討 ・内定競技の啓発 ・周知啓発活動の実施	・準備委員会の設立 ・各種計画の検討や策定 ・内定競技の啓発 ・周知啓発活動の実施	
				評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績				・準備委員会の設立準備 構成団体との調整 ・各種計画の検討 競技用具計画、施設整備計画 等 ・内定競技の啓発 バウンドテニス体験会 ・周知啓発活動の実施 YMITアリーナOPイベントでの啓発等		

基本方針5 スポーツ環境の充実

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価							
				実施計画							
① 指導者の育成	スポーツ指導員等資格取得支援事業	スポーツ保健課	実施主体	スポーツ協会		実施計画					
			関係団体等			目標	専門的な知識を有する指導者を育成することで、競技に取り組む選手の競技力向上や指導体制の充実につなげる。				
			事業内容	各種スポーツの指導者の資質と指導力の向上、新たな指導者の育成を図るため、スポーツ指導員等の資格取得に係る支援を行う。		年度	H28	H29	H30	R1	R2
			成果	県スポーツ協会等と連携した資格取得支援のあり方を検討するとともに、スポーツ少年団の指導者養成を継続した。		区分	検討		新規	継続	
			課題	支援制度の検討を進めるとともに、個人の資格取得の機運を高める啓発を行う必要がある。		計画	先進事例研究	先進事例研究 支援制度設計	支援制度創設	支援件数 2件	支援件数 2件
			評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	取組なし	先進事例研究	既存制度活用 スポ少指導者養成 6人	既存制度活用 スポ少指導者養成 19人	
② スポーツ協会との連携	指導者人材バンク	スポーツ保健課	実施主体	スポーツ協会		実施計画					
			関係団体等			目標	新たな指導者の発掘・育成につなげ、競技スポーツの指導体制の充実につなげる。				
			事業内容	競技別指導者の情報を集約して指導者人材バンクを構築し、ニーズに応じて、指導者を派遣する。		年度	H28	H29	H30	R1	R2
			成果	人材バンク制度を活用し、指導者の派遣を行うことで、中学校部活動の充実に向けた支援を行うことができた。		区分	検討		新規	継続	
			課題	さらなる事業の拡大に向けて、周知や事業の確保に取り組む必要がある。また、中学校部活動の活動時間に合わせた指導者の確保が難しい状況もある。		計画	先進事例研究	人材バンク制度創設 指導者派遣件数 15件	指導者派遣件数 15件	指導者派遣件数 18件	指導者派遣件数 18件
			評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	県内他市等の事例研究 指導者の情報集約	人材バンク制度創設 指導者派遣件数 12件	指導者派遣件数 12件	指導者派遣件数 11件	
③ スポーツボランティアの育成	スポーツボランティア登録制度	スポーツ保健課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体		実施計画					
			関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ		目標	スポーツボランティアの協力体制を充実させ、ニーズに応じた協力が得られる環境を整える。				
			事業内容	各種スポーツイベント等の円滑な運営を図るため、スポーツボランティア登録制度を設置し、スポーツボランティアの発掘・育成を図る。		年度	H28	H29	H30	R1	R2
			成果	登録者数は目標に達していないものの、活発に制度が運営されており、事業へのニーズの高まりが見受けられた。		区分	検討		新規	継続	
			課題	スポーツボランティア登録制度の認知が低いことから、登録者確保に向けた周知に努めるとともに、積極的に活動機会の提供を図る必要がある。		計画	先進事例研究	登録制度設計	登録者数 30名	登録者数 35名	登録者数 40名
			評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	県等の事例研究 制度設計に向けたアイデア抽出	登録制度創設 登録者数 27名 実施回数 4回	登録者数 27名 実施回数 0回	登録者数 27名 実施回数 30回 小学生バレーボール教室補助	

(1) 指導者の育成・ボランティアの育成

基本方針5 スポーツ環境の充実

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価							
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価	実施計画	
④ スポーツボランティア機会の充実	スポーツボランティアの積極的活用	スポーツボランティアの積極的活用	スポーツ保健課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ	目標	新たなスポーツボランティアの発掘・育成を図り、スポーツを支える人材確保につなげる。				
				事業内容	各種スポーツイベント等において、スポーツボランティアの積極的な受け入れを行い、スポーツボランティア機会の充実を図る。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
				成果	草津市駅伝競走大会に滋賀県が実施しているスポーツボランティア支援事業によりボランティア協力を依頼したが、応募がなかった。一方、スポーツ関係団体から多くの方の協力を得て、スポーツイベントの開催できた。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	市民を対象としたスポーツイベントでは、学区体育振興会やスポーツ推進員等、多くのボランティア支援を得ている。一方で一般ボランティアは、一般的なスポーツイベントへの協力が得にくいので、滋賀県のスポーツボランティア制度との連携が必要である。	計画	ボランティア協力数 5人	ボランティア協力数 7人	ボランティア協力数 9人	ボランティア協力数 15人	ボランティア協力数 18人
				評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	ボランティア協力数 3人	ボランティア協力数 1人	ボランティア協力数 2人 関係団体協力数 延べ390人 (協力団体:スポーツ推進委員協議会、スポーツ協会、くさつ健・交クラブ・体育振興会連絡協議会・立命館大学 など)	ボランティア協力数 0人 関係団体協力数 延べ238人 (協力団体:スポーツ推進委員協議会、スポーツ協会、くさつ健・交クラブ・体育振興会連絡協議会・立命館大学 など)	
(2) 新たなスポーツ情報発信の充実	草津市スポーツ情報ネットの充実	草津市スポーツ情報ネットの充実	スポーツ保健課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体	実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会	目標	市民の多様なニーズに応じたスポーツ情報の発信に努め、市民のスポーツに対する関心の高まりにつなげる。				
				事業内容	社会体育施設のHP「草津市スポーツ情報ネット」の充実を図るため、スポーツ関係団体の活動情報等の相互リンクや、予約情報システム導入の検討を行う。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
				成果	社会体育施設のHP「草津市スポーツ情報ネット」でCRSSを活用して市内の新着情報の共有や、SNSとの連動、音声による施設の紹介等、スピード感があり、工夫した情報発信を行った。その結果、依然として高い水準でアクセス数があり、当HPへのニーズの高さが分かった。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	市内のスポーツ団体等と連携した情報発信や様々な情報発信ツールの活用を通じて、より効率的・効果的な情報発信を行う必要がある。	計画	HPアクセス数 76,000	HPアクセス数 82,000	HPアクセス数 88,000	HPアクセス数 94,000	HPアクセス数 100,000
				評価	4 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	HPアクセス数 195,285 予約状況閲覧システムアクセス数 242,242	HPアクセス数 213,022 予約状況閲覧システムアクセス数 305,250	HPアクセス数 146,691(12月末現在) 予約状況閲覧システムアクセス数 284,662(12月末現在)	HPアクセス数 188,075(2月末現在) 予約状況閲覧システムアクセス数 412,905(2月末現在)	
(2) 新たなスポーツ情報発信システムの構築	草津市スポーツ情報紙の発行	草津市スポーツ情報紙の発行	スポーツ保健課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体	実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会	目標	市民がスポーツ情報に接しやすい環境を整え、市民の積極的なスポーツ活動への参画につなげる。				
				事業内容	市内のスポーツイベントや、各スポーツ関係団体の活動状況等の情報を集約したスポーツ情報紙を発行し、スポーツ情報のより効率的・効果的な発信を行う。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
				成果	過年度の結果や反省を生かし、提供する情報の収集に努めた。その結果、計画通りのスポーツ情報の発信をすることができた。また、活動団体のメンバー募集記事などの掲載を行い、地域に根付いたスポーツ情報の発信をしている。	区分	検討	検討	新規	継続	継続
				課題	市民の情報誌への関心を集めるために、記事の内容や組み立て等を他市事例を参考にして、引き続き工夫する必要がある。	計画	先進事例研究	市内スポーツ情報集約	情報紙発行	情報紙発行	情報紙発行
				評価	4 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	県体協の事例研究 情報紙発行に向けたアイデア抽出	スポーツ情報紙発行	スポーツ情報紙発行 (12月、3月)	スポーツ情報誌発行(4回)	

基本方針5 スポーツ環境の充実

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価	実施計画
① (仮称)野村スポーツゾーンの整備	野村公園整備事業	公園緑地課	実施主体	草津市	実施計画					
			関係団体等	スポーツ協会、観光物産協会、中心市街地活性化協議会、立命館大学	目標	既存スポーツ施設の規模や機能強化により、様々な競技や大規模なスポーツイベント等の受け入れにつなげる。				
			事業内容	中心市街地活性化に貢献する集客拠点、かつ緑地やオープンスペースが不足する中心市街地のみどりの拠点となるよう、既存スポーツ施設の規模や強化等を核とした公園整備を行う。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
			成果	令和元年6月22日にくさつシティアリーナの供用を開始することができた。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
			課題	「新たなにぎわいの創出」に向けて、各関係団体等と連携を図っていく必要がある。	計画	◆第1期事業 用地取得	◆第1期事業 建築工事	◆第1期事業(完了) 建築工事		
			評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	◆第1期事業 用地取得(約14,000㎡) ※H29.3.27土地売買契約 締結	◆第1期事業 建築工事着手(2ヶ年)	◆第1期事業(完了) 建築工事完成	R1. 6. 22 くさつシティアリーナ供用 開始 R1. 6. 23 オープニング記念イベント の開催	
② 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた施設の整備・充実	社会体育施設等整備改修事業(国スポ整備)	スポーツ大会推進室・プール整備事業推進室	実施主体	草津市	実施計画					
			関係団体等	スポーツ協会 他	目標	第79回国民スポーツ大会の競技種目の開催に必要な施設規模を確保する。				
			事業内容	第79回国民スポーツ大会に向けて、競技会場となる社会体育施設等の必要な整備・改修を行う。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
			成果	(仮称)草津市立プール整備・運営事業を実施する民間事業者を募集・選定するに当たり、特定事業の選定や入札公告等を行った。	区分	検討	新規	継続	継続	継続
			課題	令和6(2024)年に開催予定の国スポ・障スポに向けて、また大会後の施設の利用を見据えて施設整備を進める必要がある。	計画	競技種目等の情報収集	競技会場の整備・改修 ・YMITアリーナ	競技会場の整備・改修 ・YMITアリーナ ・(仮称)草津市立プール	競技会場の整備・改修 ・(仮称)草津市立プール	競技会場の整備・改修 ・(仮称)草津市立プール
			評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	競技種目の内定 ・バレーボール(成年男女) ・バスケットボール(少年女子) ・ソフトボール(少年男子)	競技種目の内定 ・軟式野球(成年男子) 競技会場の整備 ・YMITアリーナの建設 ・(仮称)草津市立プール 整備計画の策定に着手	競技会場の整備 ・YMITアリーナの竣工 ・(仮称)草津市立プール 整備基本計画を策定	競技会場の整備 ・(仮称)草津市立プール整備・運営 事業を特定事業として選定 ・(仮称)草津市立プール整備・運営 事業に係る入札公告 ※年度内に最優秀提案者を選定 競技種目の内定 【公開競技】バウンドテニス 【障スポ】バレーボール(精)	
(3) 社会体育施設等の整備・充実	社会体育施設整備改修事業(営繕)	スポーツ保健課	実施主体	草津市	実施計画					
			関係団体等	スポーツ協会	目標	社会体育施設の適正な機能を維持していくことで、誰もが快適にスポーツができる環境を整える。				
			事業内容	スポーツができる場所として社会体育施設の適正な機能を維持していくために、施設に必要な改修等を行う。	年度	H28	H29	H30	R1	R2
			成果	ふれあい体育館の機能維持を目的としてふれあい体育館の改修工事を行った。また、国民体育大会や県道拡幅に向け野村運動公園グラウンド防球ネット改修工事の実施設計を行った。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
			課題	市内社会体育施設の機能維持のみならず、経年により老朽化が進む付帯施設や、現存の施設への改善要望に対するの対応等を計画的に実施し、より市民に利用しやすい施設にしていく必要がある。	計画	必要な整備・改修 ・常盤東健康広場 ・武道館武道場床 ・ふれあい体育館外壁	必要な整備・改修 ・三ツ池テニスコート整備	必要な整備・改修	必要な整備・改修	必要な整備・改修
			評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	常盤東健康広場 グラウンド舗装改修 ・武道館武道場床 床塗装補修 ・ふれあい体育館外壁 外壁補修	三ツ池テニスコート整備 クレイ4面 ・総合体育館屋外排水設備	ふれあい体育館屋根等 工事設計	ふれあい体育館屋根等 改修工事 ・野村運動公園グラウンド 防球ネット改修工事実施 設計	

基本方針5 スポーツ環境の充実

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価								
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価	目標	年度	区分
④ 地域の身近な施設の活用等の	地域まちづくりセンター	地域まちづくりセンター 貸館事業	まちづくり協働課	実施主体	草津市	実施計画						
				関係団体等		目標	地域まちづくりセンターの貸館を通じて、市民が身近に運動・スポーツができる場所や機会の充実につなげる。					
				事業内容	地域まちづくりセンターにおいて各諸室の貸館を行い、健康体操やダンス等の運動・スポーツができる場所を提供する。	年度	H28	H29	H30	R1	R2	
				成果	健康体操やダンス等のスポーツ、軽運動ができる場所として、市内にある14の地域まちづくりセンターで諸室の貸館を行った。その結果、多数の方が気軽に運動・スポーツができる場所の充実につなげた。	区分	継続		継続		継続	
				課題	利用者の年齢層に偏りがあることから、あらゆる世代の方に利用いただけるよう、また、諸室に余裕のある施設もあるため、施設の周知等を積極的に行う必要がある。	計画	貸館施設 14館	貸館施設 14館	貸館施設 14館	貸館施設 14館	貸館施設 14館	
				評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	貸館施設 14館	貸館施設 14館	貸館施設 14館	貸館施設 14館		
⑤ 公園の整備・充実	児童公園等再整備事業	公園緑地課	実施主体	草津市	実施計画							
			関係団体等	各町内会	目標	利用者ニーズに合った公園の再整備を行うことで、子どもの外遊びの機会を増やし、基礎体力の増進につなげる。						
			事業内容	児童公園・児童遊園の老朽化対策として、地元町内会の意見等を聴くことで、利用者ニーズの把握に努めながら、再整備(リニューアル)、改修を行う。	年度	H28	H29	H30	R1	R2		
			成果	地元町内会の意見等を踏まえながら市内7箇所の公園再整備を行うことで、身近にスポーツ等ができる環境の整備につなげた。	区分	継続		継続		継続		
			課題	市内約300箇所の公園で老朽化が進んでおり、長寿命化対策が必要となっているが、財源確保等の課題により、抜本的な対策が進んでいない。	計画	公園再整備 3箇所	公園再整備 3箇所	公園再整備 3箇所	公園再整備 3箇所	公園再整備 3箇所		
			評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	公園再整備 3箇所 ・野村下伊屋田児童遊園 ・田白児童公園 ・木川四石舞児童公園	公園再整備 4箇所 ・野村東公園 ・追分丸尾北公園 ・野路下北池南児童遊園 ・野村南浦児童公園	公園再整備 11箇所 ・西一第二児童遊園・木川六ノ坪児童公園 ・田白児童公園・若草三丁目児童遊園 ・東南児童公園・山寺十徳児童遊園 ・新浜上原教第一児童遊園 ・矢倉町まちかどグリーン ・雀谷児童公園 ・野路下北池南児童遊園 ・三角地公園	公園再整備 7箇所 ・西大路列草児童遊園 ・上笠五反長児童遊園 ・野路下北池北児童遊園 ・野路下北池西児童遊園 ・師子舞谷児童公園 ・大塚田地東児童遊園 ・馬池中央児童遊園			
(4) 学校体育施設開放の充実	① 学校体育施設開放の充実	スポーツ保健課	実施主体	草津市	実施計画							
			関係団体等	くさつ健・交クラブ、各地域スポーツクラブ	目標	身近な場所でスポーツができる環境を整えることにより、市民の活発なスポーツ活動につなげる。						
			事業内容	市内小・中学校の学校体育施設を広く開放し、市民が身近にスポーツができる場所の充実を図るとともに、地域スポーツクラブ等による学校開放運営を推進する。	年度	H28	H29	H30	R1	R2		
			成果	学校体育施設の開放を通じて、市民が気軽にスポーツができる場所の充実につなげた。また、老上小学校(体育館)開放の事務および運営等を地域スポーツクラブである「ALL老上スポーツクラブ」に委託し、地域によるスポーツ活動・運営を推進することが出来た。	区分	継続		継続		継続		
			課題	利用希望が輻射している学校もある現状を踏まえて、よりよい学校開放のルールを検討していく必要がある。	計画	開放校 小学校 14校 中学校 5校 クラブ運営校 小学校 4校 中学校 1校	開放校 小学校 14校 中学校 5校 クラブ運営校 小学校 4校 中学校 1校	開放校 小学校 14校 中学校 5校 クラブ運営校 小学校 4校 中学校 1校	開放校 小学校 14校 中学校 5校 クラブ運営校 小学校 6校 中学校 1校	開放校 小学校 14校 中学校 5校 クラブ運営校 小学校 8校 中学校 1校		
			評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	開放校 小学校 14校 中学校 5校 クラブ運営校 小学校 4校 中学校 1校	開放校 小学校 14校 中学校 5校 クラブ運営校 小学校 4校 中学校 1校	開放校 小学校 14校 中学校 5校 クラブ運営校 小学校 5校 中学校 1校	開放校 小学校 14校 中学校 5校 クラブ運営校 小学校 6校 中学校 1校			

基本方針5 スポーツ環境の充実

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価					
				実施計画					
(5) 企業等管理施設の有効活用	① 企業等管理施設の有効活用	企業等管理施設の一般開放の検討	スポーツ保健課	実施主体	草津市				
				関係団体等	企業等				
				事業内容	市内のスポーツができる場所を充実させるため、企業等と連携・協力し、企業等が保有する体育施設の市民への一般開放を検討する。				
				成果	制度の創設に至らなかったが、立命館大学の協力のもと、大学施設を利用したスポーツ大会等を開催することができた。				
				課題	企業の施設を利用することは不特定多数の入退場を許可しなければならぬというセキュリティ上の大きな課題がある。				
				評価	2	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった			
目標	体育施設を保有する企業の協力を得て、より市民が身近にスポーツができる場所の充実につなげる。								
年度	H28	H29	H30	R1	R2				
区分	検討		検討		新規		継続		
計画	先進事例研究		一般開放制度設計		一般開放制度創設		協力企業数 2企業		
実績	企業保有施設情報収集		事例研究・課題整理		立命館大学BKCKウイנסスタジアム、スポーツ健康コモンズを利用		立命館大学BKCKウイנסスタジアム、スポーツ健康コモンズを利用		
(6) スポーツ観戦機会の充実	① (仮称)野村スポーツゾーンの推進	野村公園整備事業	公園緑地課	実施主体	草津市				
				関係団体等	スポーツ協会、観光物産協会、中心市街地活性化協議会、立命館大学				
				事業内容	中心市街地活性化に貢献する集客拠点、かつ緑地やオープンスペースが不足する中心市街地のみどりの拠点となるよう、既存スポーツ施設の規模や強化等を核とした公園を整備し、大規模なスポーツイベント等を受け入れる。				
				成果	Vリーグ(バレーボール)やBリーグ(バスケットボール)といった大規模スポーツイベントを開催し、身近にプロスポーツ等を感じる機会を増やすことができた。				
				課題	「新たなにぎわいの創出」に向けて、各関係団体等と連携を図っていく必要がある。				
				評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった			
目標	既存スポーツ施設の規模や機能強化により、様々な競技や大規模なスポーツイベント等の受け入れにつなげる。								
年度	H28	H29	H30	R1	R2				
区分	継続		継続		継続		継続		
計画	◆第1期事業 用地取得		◆第1期事業 建築工事		◆第1期事業(完了) 建築工事				
実績	◆第1期事業 用地取得(約14,000㎡) ※H29.3.27土地売買契約締結		◆第1期事業 建築工事着手(2ヶ年)		◆第1期事業(完了) 建築工事(YMITアリーナ) ※H31年3月末竣工		・Vリーグ 6日 開催 ・Bリーグ 4日 開催 ・大相撲巡業 1日 開催 ・その他各種イベント 数日開催		
実施主体	草津市								
関係団体等	京都府自転車競技連盟、滋賀県自転車競技連盟								
事業内容	烏丸半島で開催される「草津ナイトレース」、「関西シクロクロス」の自転車競技大会の開催協力を行う。								
成果	烏丸半島での「草津ナイトレース」の開催協力をを行い、本市の観光PRを図った結果、参加者や観戦者に烏丸半島を含めた本市の魅力を発信できた。なお、「関西シクロクロス」は本市外で開催されたため中止となった。								
課題	市内外への草津市の魅力等の発信に繋がる機会であるため、烏丸半島以外の観光施設についてもより効果的な魅力等の発信を行う必要がある。								
評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった							
目標	自転車競技大会の開催を通じて、市内外への草津市の魅力等の発信につなげる。								
年度	H28	H29	H30	R1	R2				
区分	継続		継続		継続		継続		
計画	「草津ナイトレース」、「関西シクロクロス」の開催協力を行う。		「草津ナイトレース」、「関西シクロクロス」の開催協力を行う。		「草津ナイトレース」、「関西シクロクロス」の開催協力を行う。		「草津ナイトレース」、「関西シクロクロス」の開催協力を行う。		
実績	・草津ナイトレース 7月30日、8月6日 ・関西シクロクロス 12月25日		・草津ナイトレース 7月29日、8月5日 ・関西シクロクロス 12月24日		・草津ナイトレース 7月21日、8月4日		・草津ナイトレース 7月20日、8月10日		